ウィンスリーポートⅡ

取付説明書　－ 基本・横連棟（梁135・200・240仕様）－

●このたびは、当社製品をお買いあげいただきましてまことにありがとうございます。
●この取付説明書に示した表示記号の内容は、製品を安全に正しく施工していただき、施主様等の危害や損害を未然に防止するためのものです。
　表示記号の内容を良く理解したうえで、本書の内容（指示）にしたがってください。
●この取付説明書では、次のような記号を使用しています。

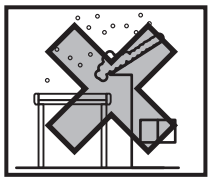
安全に関する記号	記号の意味
⚠警告	●取扱いを誤った場合に、使用者が死亡または重傷を負うおそれのある内容を示しています。
⚠注意	●取扱いを誤った場合に、使用者が中・軽傷を負うおそれのある内容、または物的損害のおそれがある内容を示しています。

一般情報に関する記号	
ポイント	●取付手順で、特に注意して作業をしていただきたいことを示しています。 ●守っていただかないと組付けができない内容、または製品全体に後々不具合が発生するおそれのある内容を示しています。
※	●取付説明の内容全体（個々の説明枠）にかかる注意事項を示しています。 ●取付説明の内容に制限がある場合の条件を示しています。
補足	●説明の内容で知っておくと便利なことを示しています。

＜施工の前に＞

⚠注意

※製品破損、倒壊による人への危害・物的損害が想定されますので、下記の事項をお守りください。
●製品の施工には、危険を伴う場合がありますので、必ず専門の工事業者による施工をお願いします。
●当製品は簡易型車庫です。物置・遊び場あるいは住居の一部等への転用を目的として、みだりに改造・変更をしないでください。
●本製品は一般地域用900タイプで積雪30cm以下、積雪地域用1500タイプで積雪（新雪）50cm以下、多積雪地域用3000・4500・6000タイプで積雪（新雪）100・150・200cm以下での地域用です。
●本製品は地面設置専用です。2階以上の高所に取付けると強風により製品が破損するおそれがあります。
●柱移動は当社指定範囲内にしてください。
●崖などの高低差のある場所には設置しないでください。
●建物の屋根から落雪を直接受けない位置に設置してください。
●強風地域、特に崖上、屋上、風の通り道上等の施工は避けてください。
●給湯器や暖房機等の熱排気が製品に当たらないように施工してください。排気による塗装劣化・剥離（はくり）のおそれがあります。



●給湯器や暖房機等の熱排気が製品内にこもるような場所に施工しないでください。排気による中毒のおそれがあります。
●傾斜地に設置する場合は、低い場所の埋込み深さを確保してください。
●梁の重量がありますので、必要人数の確保又はユニック車を使用してください。
●躯体カバーを取付けする際は、躯体とカーポートの位置をよく確認した上で施工してください。施工できなくなる場合があります。
●製品の強度、性能を低下させないために、取付説明書の順序通りにして組付けてください。

＜基礎工事について＞

⚠ 注 意

※製品破損、倒壊による人への危害・物的損害が想定されますので、下記の事項をお守りください。

●基礎コンクリート打設は、柱に梁を固定し側枠を仮止めした上で、柱のピッチ、垂直、向き、梁の水平と側枠で水こう配（基本仕様2° 傾斜、縦連棟仕様1° 傾斜）を確認してから行なってください。

●基礎部の埋込み深さは製品ごとに決めていますが、現場によって（軟弱な地盤等）基礎部のコンクリートの量（体積）を十分配慮してください。

●寒冷地で凍上するおそれのある地域で使用する場合は、凍上線の下まで基礎を設けてください。

●モルタルやコンクリートには、塩分を含む砂（海砂）および塩素系強アルカリのコンクリート用混和剤（凍結防止剤、凝固促進剤、急結剤等）は使用しないでください。使用するとアルミ等の金属が腐食する原因になります。必要な場合は非塩素系や非アルカリ系の混和剤をご使用ください。

●柱内の水抜きができるよう、基礎には必ず砕石等を敷き、柱と基礎の付け根に水抜き穴（φ6）をあけてください。
柱内の水が凍結膨張し、柱が破損するおそれがあります。

●モルタルやコンクリート等が製品の表面に付着した場合は、速やかに拭取ってください。シミやムラ等の外観不良の原因になります。

●養成期間は十分（4日～1週間）とり、その間重いものをのせたり振動させたりしないよう指示してください。

●地下埋設物（給排水管、電線管など）に影響を与えないように、ご注意ください。

＜施工上のご注意＞

⚠ 注 意

※製品破損、倒壊による人への危害・物的損害が想定されますので、下記の事項をお守りください。

●柱の移動は当社指定範囲内にしてください。

●「使用上の注意」ラベルを貼っている柱に竪樋を取付けると、表示が見えなくなります。竪樋を取付けない側に表示ラベルを向けてください。

●ボルト、ネジは当社指定品を指定本数使用し、ゆるまないように締付け固定してください。

●アルミ製品が亜鉛、ステンレス以外の金属と接触する場合は、絶縁処理をしてください。

●製品の改造や、指定箇所以外の穴加工はしないでください。

●製品についた汚れは取除き、誤ってキズをつけた場合は、補修塗料で補修してください。

●水漏れのおそれがありますので、指定の箇所にシーリングをしてください。

●お施主様による本体清掃時の安全のため、指定箇所のネジ先端部へシーリングをしてください。

●シリコーンシーリング材を使用する場合は、ポリカーボネート板のひび割れ等のおそれがありますので、当社指定の脱アルコール系シーリング材を使用してください。

シーリング材メーカー	品名および品番
信越化学工業（株）	シーラント72
モメンティブ・パフォーマンス・マテリアルズ・ジャパン（合）	トスシール380
東レ・ダウコーニング（株）	SE960

＜施工の後に＞

※取扱説明書はお施主様にお渡しください。

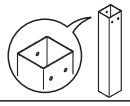
INDEX

1　梱包明細表…… 4
2　基本寸法と各部の名称…… 11
　1．各部の名称…… 11
　2．基本寸法…… 12
3　本体の施工方法…… 15
　1．基礎の施工…… 15
　2．梁・タイトフレームの組立て…… 20
　3．横材・振れ軽減部材の取付け オプション …… 26
　4．折板・側枠の取付け…… 29
　5．前後枠取付け前の準備（基本仕様幅80サイズ・横連棟仕様・幅18延長仕様の場合）…… 33
　6．前後枠の取付け…… 36
　7．竪樋の取付け…… 38
　8．水切りパッキンの取付け オプション …… 39
　9．躯体カバーの取付け オプション …… 40

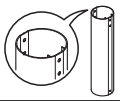
D522_201105A
MAM-45_201105

1　梱包明細表

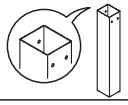
【1】角柱セット

名称	略図	員数									
		900タイプ			1500～6000タイプ				共通		
		標準	ロング25	ロング30	標準	ロング25	ロング30	凍上ロング25	標準	ロング25	凍上ロング25
柱		2	2	1	2	2	1	2	1	1	1

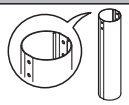
【2】丸柱セット

名称	略図	員数				
		900～4500タイプ			共通	
		標準	ロング25	ロング30	標準	ロング25
丸柱		2	2	1	1	1

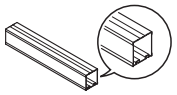
【3】中間角柱セット

名称	略図	員数						
		900タイプ			1500・3000・4500タイプ			
		標準	ロング25	ロング30	標準	ロング25	ロング30	凍上ロング25
中間柱		1	1	1	1	1	1	1

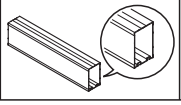
【4】中間丸柱セット

名称	略図	員数		
		900～4500タイプ		共通
		標準	ロング25	ロング30
中間柱		1	1	1

【5】梁135セット

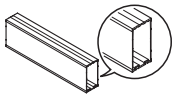
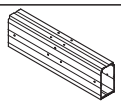
名称	略図	員数			
		900・1500タイプ	3000タイプ		
		W30	W12	W18	W24
梁135		1	1	1	1

【6】梁200セット

名称	略図	員数				
		900タイプ			3000タイプ	
		W18延長	W55	W60	W30	W36
梁200		1	1	1	1	1

D522_201105A
MAM-45_201105

【7】梁240セット

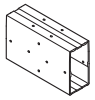
名称	略図	員数					
		900タイプ		1500~4500タイプ			3000~6000タイプ
		W80 端部	W80 中間	W18延長	W55	W60	W30
梁240		2	1	1	1	1	1
梁スリーブ240（3台用）		2	–	–	–	–	–

【8】梁スリーブ200セット

名称	略図	員数	
		W18 延長	横連棟
梁スリーブ200（※）		1	1

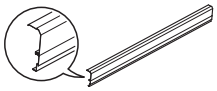
※仕様により梁スリーブの長さが異なります。
略図は横連棟仕様の梁スリーブを示します。

【9】梁スリーブ240セット

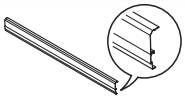
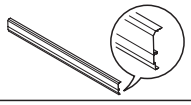
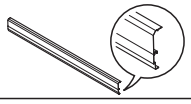
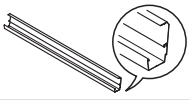
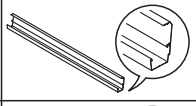
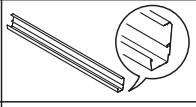
名称	略図	員数	
		W18 延長	横連棟
梁スリーブ240（※）		1	1

※仕様により梁スリーブの長さが異なります。
略図は横連棟仕様の梁スリーブを示します。

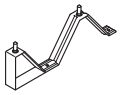
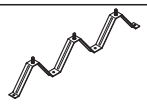
【10】長さセット

名称	略図	員数			
		L12	L28	L55	L60
側枠		2	2	2	2

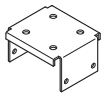
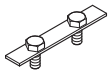
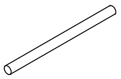
【11】幅セット

名称	略図	員数							
		W12	W18	W24	W30	W36	W55	W60	W80
前後枠（水上）		1	1	1	1	1	1	1	–
前後枠（水上）右		–	–	–	–	–	–	–	1
前後枠（水上）左		–	–	–	–	–	–	–	1
前後枠（水下）		1	1	1	1	1	1	1	–
前後枠（水下）右		–	–	–	–	–	–	–	1
前後枠（水下）左		–	–	–	–	–	–	–	1
竪樋L3000		–	–	–	1	1	1	1	2

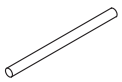
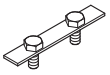
【12】タイトフレームセット

名称	略図	員数												
		梁1本用		梁2本用								梁3本用		
		W18	W80	W12	W18	W24	W30	W36	W55	W60	W80	W30	W55	W60
タイトフレームエンド用		−	2	4	4	4	4	4	4	4	4	6	6	6
タイトフレーム中間用		2	12	2	4	6	8	10	16	18	24	12	24	27
ルーフボルトキャップ		6	40	14	20	26	32	38	56	62	80	48	84	93
折板固定用笠ワッシャー（パッキン付）		6	40	14	20	26	32	38	56	62	80	48	84	93
【12-1】φ5×14ナベタッピンネジ3種		8	57	17	26	35	43	52	79	87	114	65	118	130

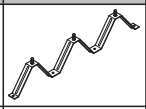
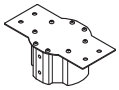
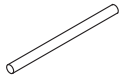
【13】角柱部品セット

名称	略図	員数	
		1本用	2本用
梁固定金具A		1	2
梁固定金具裏板		2	4
アンカー棒		1	2
【13-1】M10×20六角ボルト(PW+SW)		4	8
【13-2】M10六角ナット		4	8
【13-3】M10バネ座金		4	8

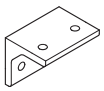
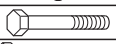
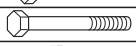
【14】丸柱部品セット

名称	略図	員数	
		1本用	2本用
丸柱取付材		1	2
アンカー棒		1	2
丸柱スペーサーB		2	4
梁固定金具裏板		2	4
【14-1】M10×20六角ボルト(PW+SW)		4	8
【14-2】M10六角ナット		4	8
【14-3】M10バネ座金		4	8

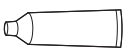
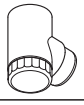
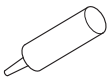
【15】梁連結部品セット

名称	略図	員数				
		梁200		梁240		
		角柱	丸柱	1500 タイプ角柱	3000・4500 タイプ角柱	丸柱
タイトフレーム中間用（ポリカ用）		1	1	1	1	1
丸柱横連棟取付材		−	1	−	−	1
アンカー棒		1	1	1	1	1
ルーフボルトキャップ		3	3	3	3	3

【15】梁連結部品セット（つづき）

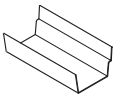
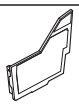
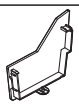
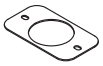
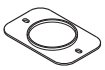
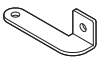
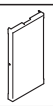
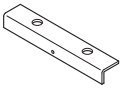
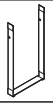
名称	略図	員数				
		梁200		梁240		
		角柱	丸柱	1500 タイプ角柱	3000・4500 タイプ角柱	丸柱
丸柱スペーサーA		−	4	−	−	4
丸柱スペーサーB		−	2	−	−	2
梁固定アングルA（横連棟）		2	−	2	2	−
梁固定アングル裏板		4	4	4	4	4
梁連結カバー200（横連棟用）		2	2	−	−	−
梁連結カバー240（横連棟用）		−	−	2	2	2
折板固定用笠ワッシャー		3	3	3	3	3
折板固定用パッキン（ポリカ用）		3	3	3	3	3
【15-1】M10六角袋ナット		6	4	6	6	4
【15-2】M10バネ座金		6	4	6	6	4
【15-3】M10平座金		8	4	8	8	4
【15-4】M10×165六角ボルト		2	−	2	−	−
【15-5】M10×200六角ボルト		−	−	−	2	−
【15-6】M10×25六角ボルト（PW+SW）		12	16	12	12	16
【15-7】M10×30六角ボルト		4	−	4	4	−
【15-8】M10×25六角ボルト		−	4	−	−	4
【15-9】φ5×14ナベタッピンネジ3種		4	4	4	4	4
【15-10】φ4×16ナベドリルネジ3種		4	4	4	4	4

【16】屋根部品セット

名称	略図	員数						
		梁135	梁200		梁240			
		2本用	2本用	3本用	2本用	W80 2本用	3本用	4本用
接着剤		1	1	1	1	1	1	1
エルボ		2	2	2	2	4	2	2
でんでん		3	3	3	3	6	3	3
ドレンエルボ		1	1	1	1	2	1	1
ブチルコーキング剤（50g）		1	1	1	1	1	1	1

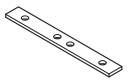
D522_201105A
MAM-45_201105

【16】屋根部品セット（つづき）

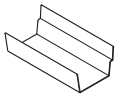
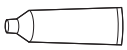
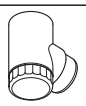
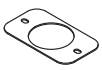
名称	略図	員数						
		梁135	梁200		梁240			
		2本用	2本用	3本用	2本用	W80 2本用	3本用	4本用
ルーフボルトキャップ		4	9	−	9	12	−	−
雨樋連結用スリーブ		−	−	−	−	1	−	−
雨樋アタッチメント		1	1	1	1	2	1	1
雨樋キャップL		1	1	1	1	1	1	1
雨樋キャップR		1	1	1	1	1	1	1
雨樋パッキン		2	2	2	2	2	2	2
雨樋穴ふさぎ		1	1	1	1	−	1	1
折板ボルト		4	9	−	9	12	−	−
側枠取付金具L		2	2	1	2	2	1	2
側枠取付金具R		2	2	1	2	2	1	2
梁キャップ135（※）		4	−	−	−	−	−	−
梁キャップ200（※）		−	4	6	−	−	−	−
梁キャップ240（※）		−	−	−	4	4	6	8
梁スペーサー上		−	−	−	−	8	−	−
梁連結カバー240（3台用）		−	−	−	−	4	−	−
枠コーナーキャップL		2	2	2	2	2	2	2
枠コーナーキャップR		2	2	2	2	2	2	2
枠連結カバー		−	−	−	−	2	−	−
枠連結スペーサー		−	−	−	−	2	−	−

※梁高さによって使用する梁キャップの大きさは略図と異なります。

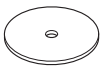
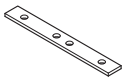
【16】屋根部品セット（つづき）

名称	略図	員数						
		梁135	梁200		梁240			
		2本用	2本用	3本用	2本用	W80 2本用	3本用	4本用
枠連結金具		−	−	−	−	3	−	−
【16-1】φ4×16ナベドリルネジ3種		43	43	43	43	78	43	52
【16-2】φ4×16ナベドリルネジ（スズメッキ）		13	24	13	24	36	24	24
【16-3】M10×25六角ボルト（PW+SW）		−	−	−	−	48	−	−
【16-4】φ4×12トラスタッピンネジ3種		−	−	−	−	13	−	−
取扱説明書<UD114>	−	1	1	1	1	1	1	1
取付説明書<D522>	−	1	1	1	1	1	1	1

【17】前後枠連結部品セット

名称	略図	員数
雨樋連結用スリーブ		1
接着剤		1
エルボ		2
でんでん		3
ドレンエルボ		1
雨樋アタッチメント		1
雨樋パッキン		2

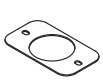
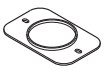
【17】前後枠連結部品セット（つづき）

名称	略図	員数
雨樋穴ふさぎ		1
折板押えパッキン		2
折板押え金具		2
枠連結カバー		2
枠連結スペーサー		2
枠連結金具		3
【17-1】φ4×16ナベドリルネジ3種		21
【17-2】φ4×16ナベドリルネジ（スズメッキ）		26
【17-3】φ4×12トラスタッピンネジ3種		13

【18】折板ボルトセット

名称	略図	員数	
		5個入	6個入
ルーフボルトキャップ		5	6
折板ボルト		5	6

【19】アタッチメントセット

名称	略図	員数
雨樋アタッチメント		1
雨樋パッキン		2
雨樋穴ふさぎ		1
【19-1】φ4×16トラスタッピンネジ3種		4

【20】エルボセット

名称	略図	員数
エルボ		1

【21】ストレートジョイナーセット

名称	略図	員数
直線ジョイナー		1

D522_201105A

【22】でんでんセット

名称	略図	員数
でんでん		3
【22-1】φ4×16ナベドリルネジ3種		6

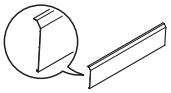
【23】ドレンエルボセット

名称	略図	員数
ドレンエルボ		1

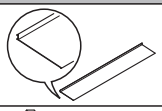
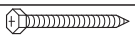
【24】竪樋セット

名称	略図	員数	
		L:1400	L:3000
竪樋		1	1

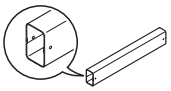
【25】化粧枠セット オプション

名称	略図	員数					
		1本入 L1200	1本入 L1800	1本入 L3000	2本入 L3900	1本入 L5400	1本入 L6000
化粧枠		1	1	1	2	1	1
【25-1】φ4×13ナベドリルネジ3種		4	4	8	16	12	12

【26】躯体カバーセット オプション

名称	略図	員数
躯体カバー		1
【26-1】φ6×70六角タッピンネジ1種		5
【26-2】M6平座金		5

【27】横材セット オプション

名称	略図	員数
横材		2

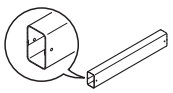
【28】横材固定部品セット（角柱用） オプション

名称	略図	員数
横材固定部品		4
【28-1】φ4×16ナベドリルネジ3種		26

【29】横材固定部品セット（丸柱用） オプション

名称	略図	員数
横材固定部品（丸柱用）		4
【29-1】φ4×16ナベドリルネジ3種		26

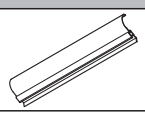
【30】振れ軽減部材セット オプション

名称	略図	員数
振れ軽減部材		4
トラスつなぎ材		2
【30-1】φ4×16ナベドリルネジ3種		4

【31】振れ軽減部材取付部品セット オプション

名称	略図	員数
トラス固定部品（丸柱用）（L/R）		各4
丸柱（トラス）スペーサー		8
【31-1】φ4×16ナベドリルネジ3種		52

【32】水切りパッキンセット オプション

名称	略図	員数	
		4本入	5本入
水切りパッキン		4	5

2　基本寸法と各部の名称

1. 各部の名称

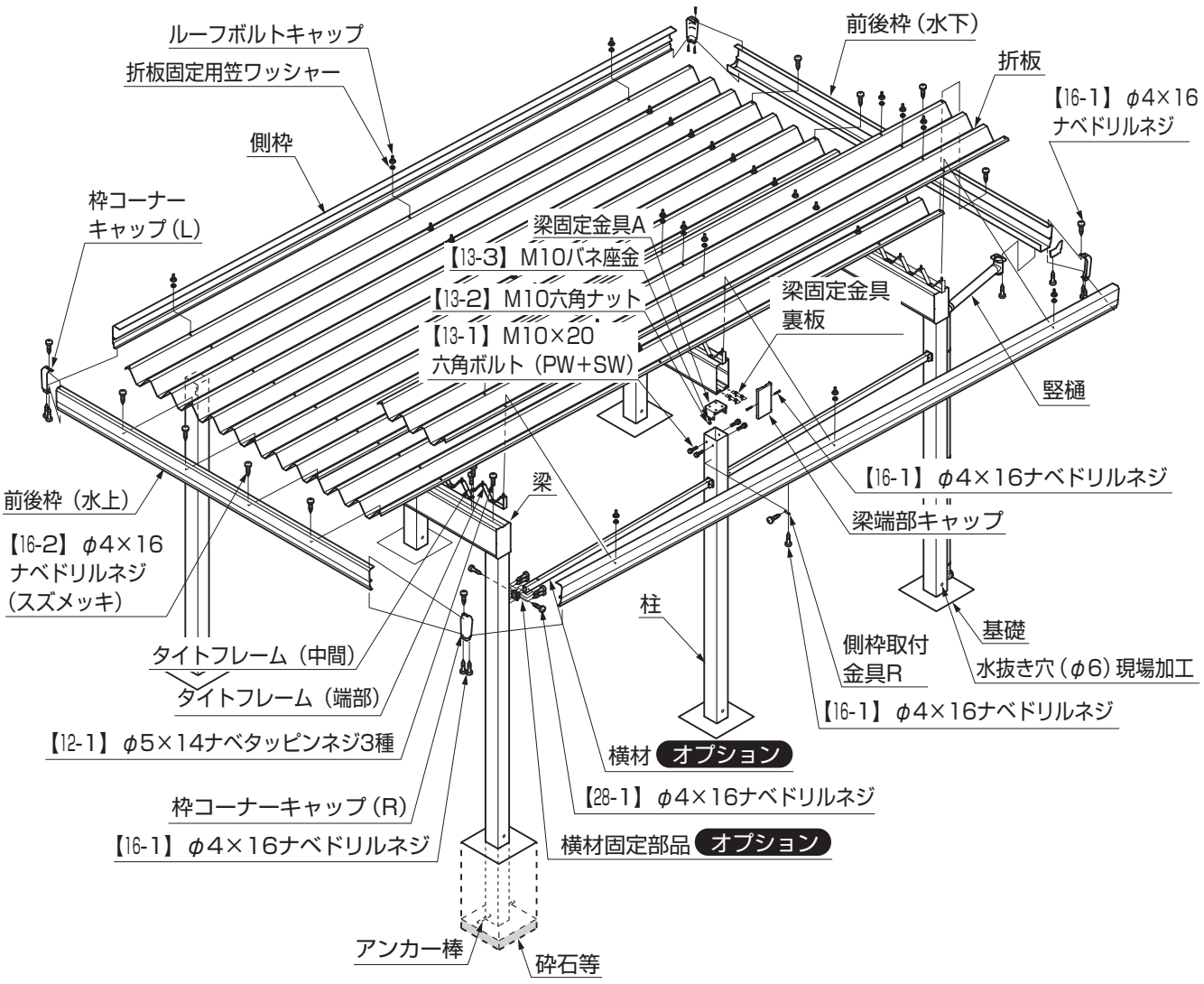


図1-1　基本仕様

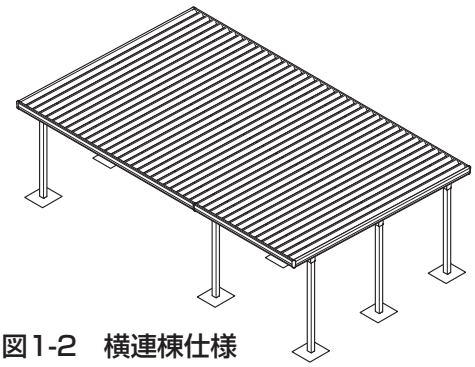


図1-2　横連棟仕様
幅30+55、幅30+60サイズ

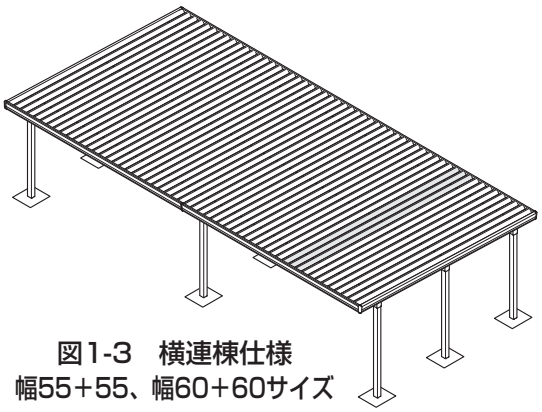


図1-3　横連棟仕様
幅55+55、幅60+60サイズ

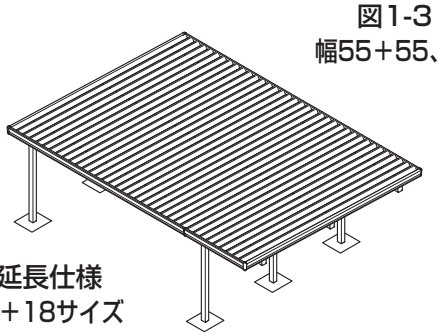


図1-4　幅18延長仕様
幅55+18、幅60+18サイズ

2. 基本寸法

2-1 奥行き長さ 55・60サイズ

※〈 〉内はロング柱25、《 》はロング柱30を示します。
※( )内は丸柱寸法を示します。

(1) 4本柱仕様

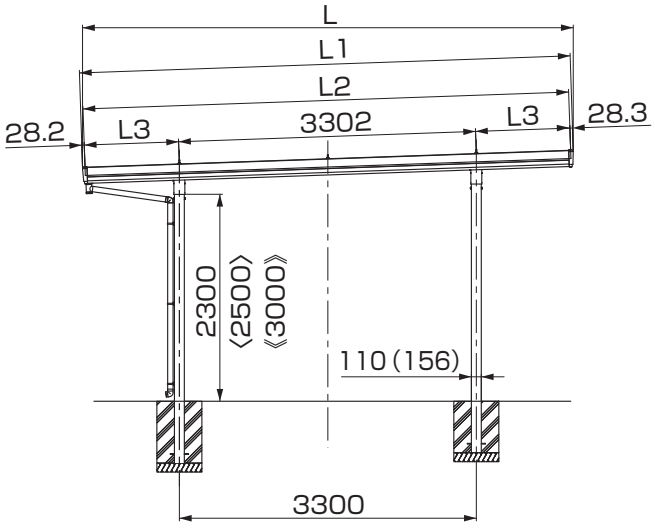


表2-1

奥行き	L	L1	L2	L3
55	5453.2	5456.5	5400	1049
60	6052.8	6056.5	6000	1349

(2) 6本柱仕様

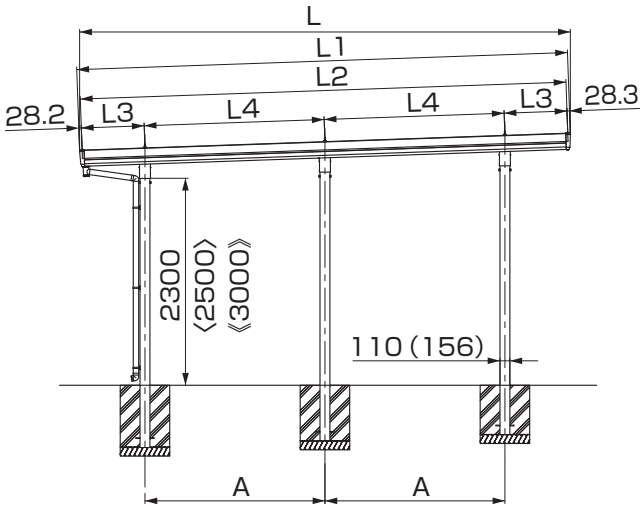


表2-2

奥行き	L	L1	L2	L3	L4	A
55	5453.2	5456.5	5400	698.8	2001.2	2000
60	6052.8	6056.5	6000	798.7	2201.3	2200

(3) 8本柱仕様

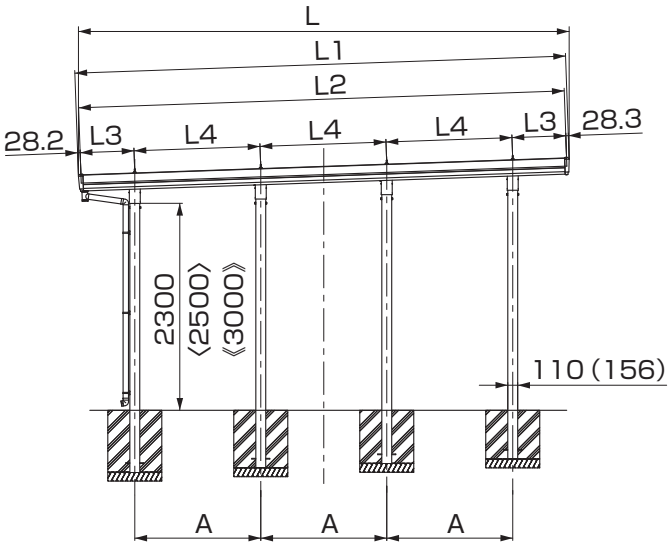


表2-3

奥行き	L	L1	L2	L3	L4	A
55	5453.2	5456.5	5400	598.7	1400.9	1400
60	6052.8	6056.5	6000	598.5	1601	1600

2-2 間口 ※( ) 内は丸柱寸法を示します。

(1) 基本仕様 幅30サイズ　(2) 基本仕様 幅55・60サイズ

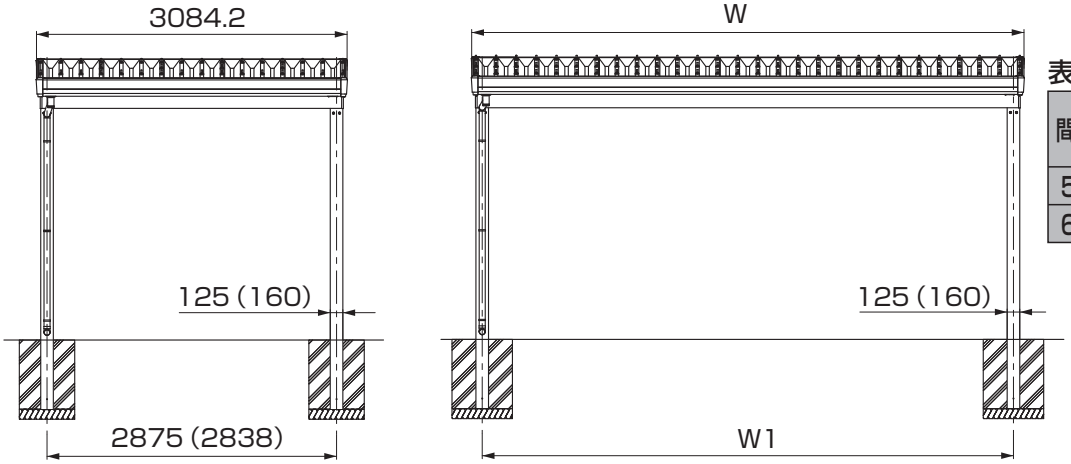
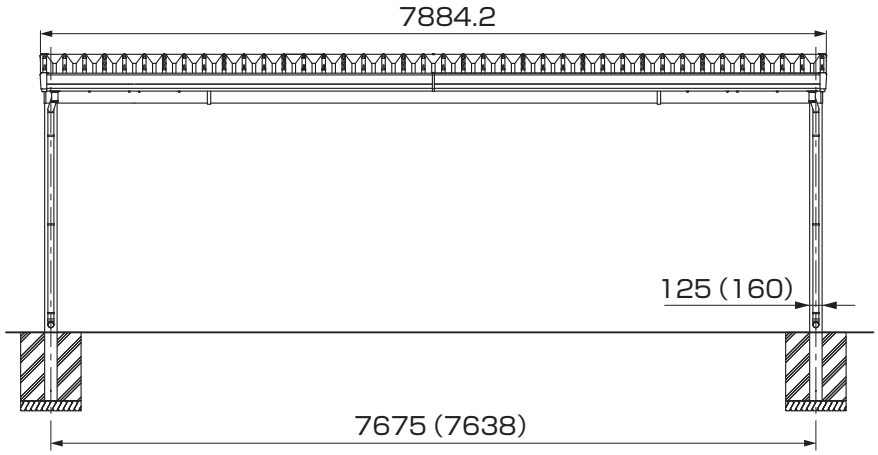


表2-4

間口	W	W1	
		角柱	丸柱
55	5484.2	5275	5238
60	6084.2	5875	5838

(3) 基本仕様 幅80サイズ



(4) 横連棟仕様 幅30+55／幅30+60サイズ

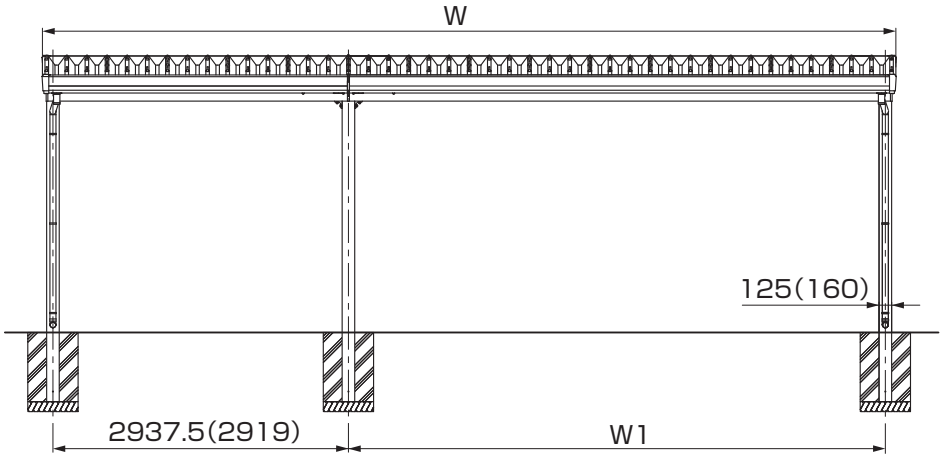


表2-5

間口	W	W1	
		角柱	丸柱
30+55	8484.2	5337.5	5319.0
30+60	9084.2	5937.5	5919.0

2. （つづき）

2-2 （つづき） ※（ ）内は丸柱寸法を示します。

（5）横連棟仕様 幅55+55／幅60+60サイズ

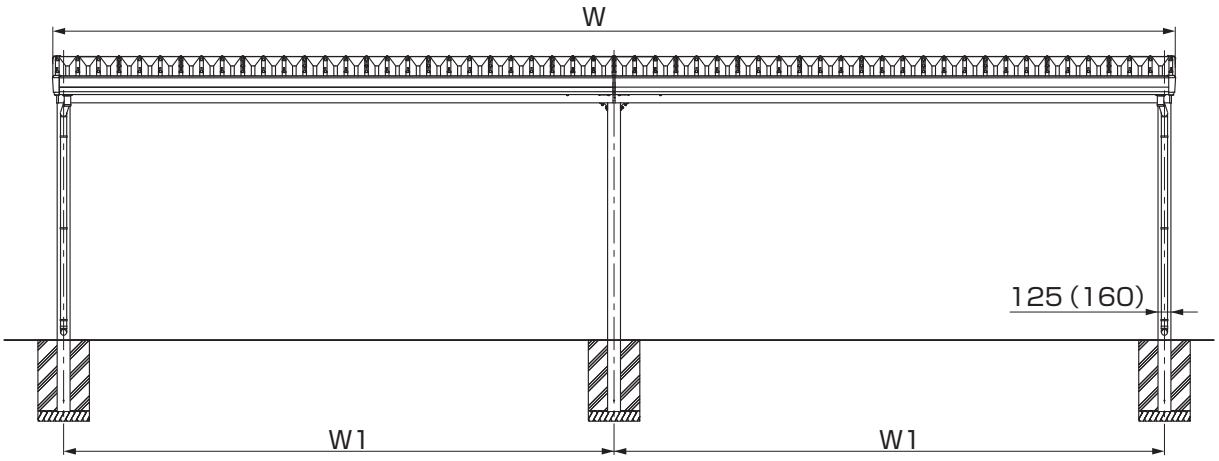


表2-6

間口	W	W1	
		角柱	丸柱
55+55	10884.2	5337.5	5319.0
60+60	12084.2	5937.5	5919.0

（6）幅18延長仕様 幅55+18／幅60+18サイズ

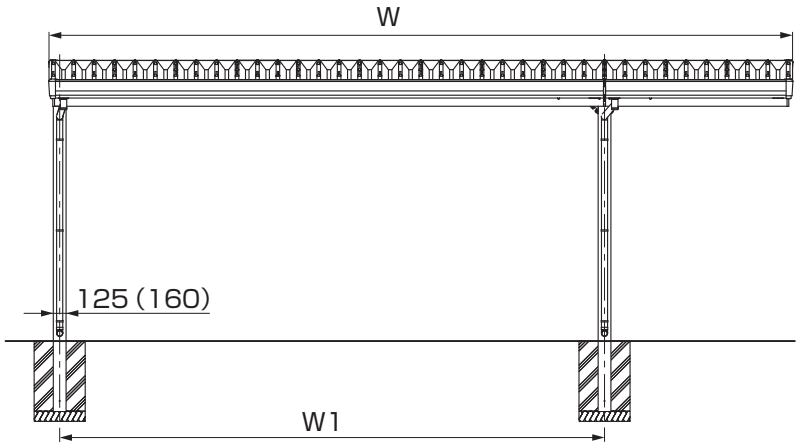


表2-7

間口	W	W1	
		角柱	丸柱
55+18	7284.2	5337.5	5319.0
60+18	7884.2	5937.5	5919.0

3　本体の施工方法

1. 基礎の施工

1-1　基礎位置の墨出し

（1）基本仕様

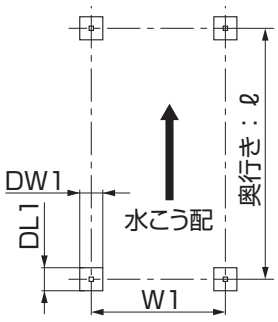


図1-1　4本柱

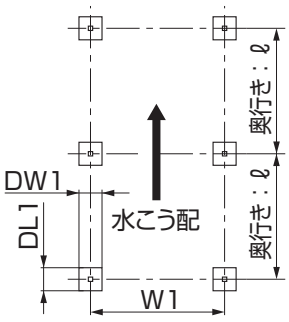


図1-2　6本柱

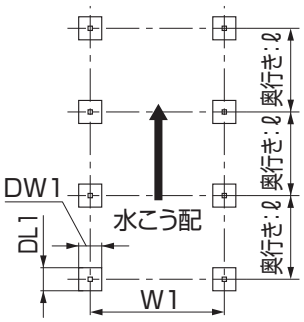


図1-3　8本柱

表1-1　基礎寸法施工表

積雪区分	形体	柱本数	サイズ	基礎寸法		柱埋込み位置				
				DW1	DL1	間口			奥行	
						角柱W1	丸柱W1	柱移動範囲	ℓ	柱移動範囲
900タイプ	1台用	4本	W30−L55	500	500	2875	2838	幅方向は内側に100mmまで移動可能です。	3300	±100mmまで移動可能です。
			W30−L60	500	500	2875	2838		3300	
	2台用		W55−L55	500	500	5275	5238		3300	
			W55−L60	500	500	5275	5238		3300	
			W60−L55	500	500	5875	5838		3300	
			W60−L60	500	500	5875	5838		3300	
	3台用		W80−L55	600	650	7675	7638		3300	
			W80−L60	600	650	7675	7638		3300	
1500タイプ	1台用	4本	W30−L55	500	500	2875	2838		3300	
			W30−L60	500	500	2875	2838		3300	
	2台用		W55−L55	500	500	5275	5238		3300	
			W55−L60	500	500	5275	5238		3300	
			W60−L55	500	500	5875	5838		3300	
			W60−L60	500	500	5875	5838		3300	
3000タイプ	小屋根	4本	W12−L28	500	500	1075	1038		1700	
			W18−L28	500	500	1675	1638		1700	
			W24−L28	500	500	2275	2238		1700	
			W30−L28	500	500	2875	2838		1700	
			W36−L28	550	550	3475	3438		1700	
	1台用		W30−L55	550	500	2875	−		3300	
			W30−L60	550	550	2875	−		3300	
	2台用	6本	W30−L55	500	500	2875	2838		2000	
			W30−L60	500	500	2875	2838		2200	
			W55−L55	600	550	5275	5238		2000	
			W55−L60	600	600	5275	5238		2200	
			W60−L55	600	600	5875	5838		2000	
			W60−L60	650	650	5875	5838		2200	
4500タイプ	1台用	6本	W30−L55	550	500	2875	−		2000	
			W30−L60	550	550	2875	−		2200	
	2台用	8本	W55−L55	600	600	5275	5238		1400	
			W55−L60	650	650	5275	5238		1600	
			W60−L55	650	650	5875	5838		1400	
			W60−L60	700	650	5875	5838		1600	
6000タイプ	1台用	8本	W30−L55	650	600	2875	−		1400	
			W30−L60	650	600	2875	−		1600	

①図1-1、図1-2、図1-3、表1-1を参照し、柱の埋め込み位置を出し、基礎位置を墨出してください。

（2）横連棟仕様・幅18延長仕様

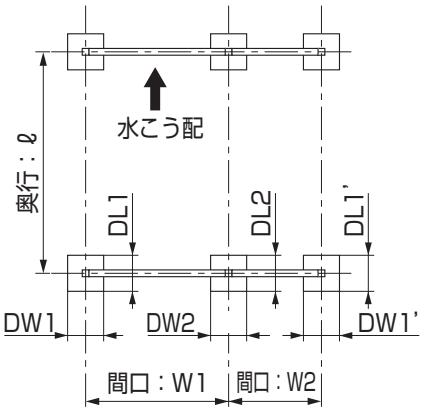


図1-4　横連棟6本柱
幅30+55、幅30+60サイズ

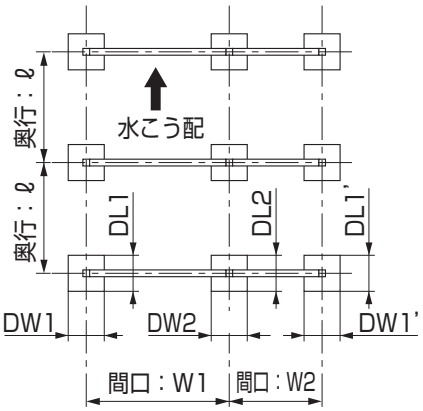


図1-5　横連棟9本柱
幅30+55、幅30+60サイズ

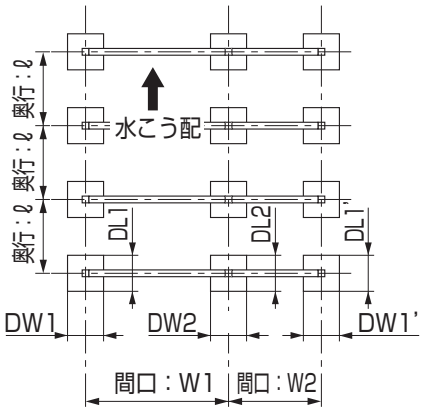


図1-6　横連棟12本柱
幅30+55、幅30+60サイズ

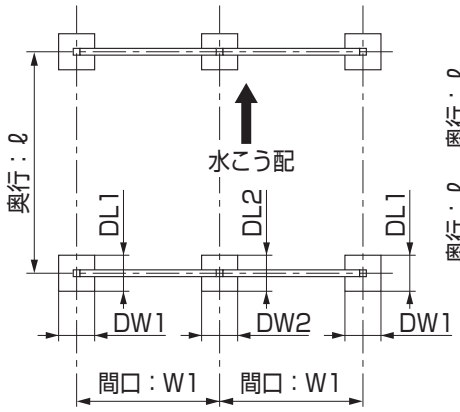


図1-7　横連棟6本柱
幅55+55、幅60+60サイズ

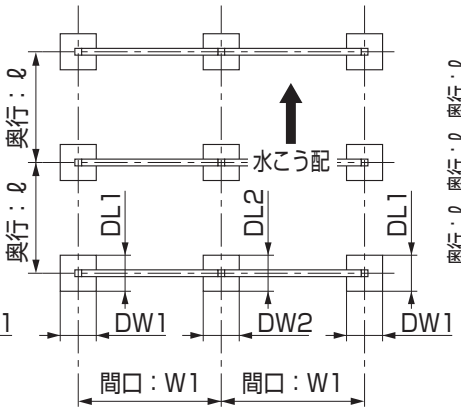


図1-8　横連棟9本柱
幅55+55、幅60+60サイズ

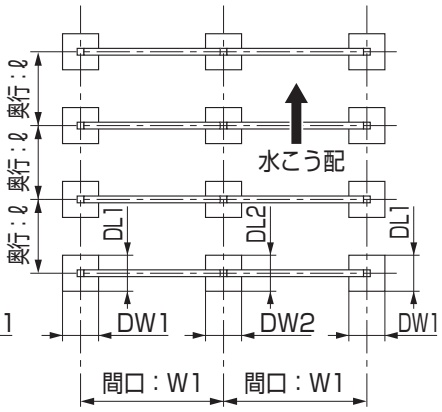


図1-9　横連棟12本柱
幅55+55、幅60+60サイズ

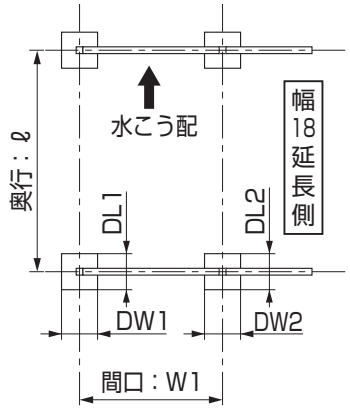


図1-10　幅18延長4本柱
幅55+18、幅60+18サイズ

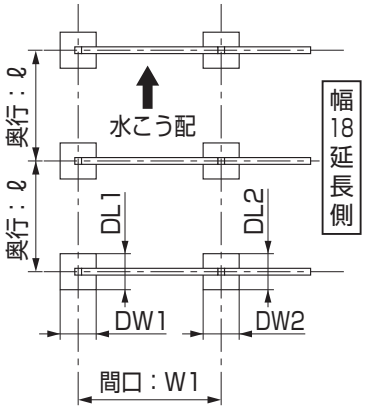


図1-11　幅18延長6本柱
幅55+18、幅60+18サイズ

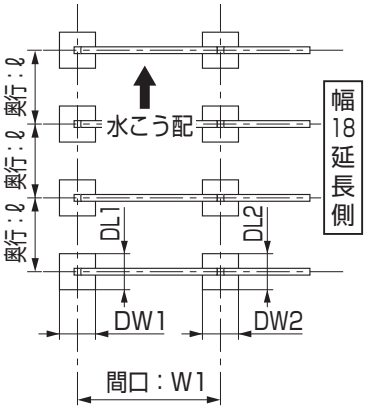


図1-12　幅18延長8本柱
幅55+18、幅60+18サイズ

①上図と表1-2を参照し、柱の埋め込み位置を出し、基礎位置を墨出してください。

表1-2　基礎寸法施工表（横連棟・18延長）

積雪区分	形体	柱本数	サイズ	基礎寸法						柱埋込み位置						
				間口55・60側		中間・延長側		間口30側		間口				奥行		
										角柱		丸柱		柱移動範囲	ℓ	柱移動範囲
				DW1	DL1	DW2	DL2	DW1'	DL1'	W1	W2	W1	W2			
900タイプ	1+2台用横連棟	6本	W30+55-L55	500	500	500	500	500	500	5337.5	2937.5	5319	2919	幅方向は内側に100mmまで移動可能です。	3300	±100mmまで移動可能です。
			W30+55-L60	500	500	500	500	500	500	5337.5	2937.5	5319	2919		3300	
			W30+60-L55	500	500	500	500	500	500	5937.5	2937.5	5919	2919		3300	
			W30+60-L60	500	500	500	500	500	500	5937.5	2937.5	5919	2919		3300	
	2+2台用横連棟		W55+55-L55	500	500	500	500	–	–	5337.5	5337.5	5319	5319		3300	
			W55+55-L60	500	500	500	500	–	–	5337.5	5337.5	5319	5319		3300	
			W60+60-L55	500	500	500	500	–	–	5937.5	5937.5	5919	5919		3300	
			W60+60-L60	500	500	500	500	–	–	5937.5	5937.5	5919	5919		3300	
	18延長	4本	W55+18-L55	500	500	500	500	–	–	5337.5	–	5319	–		3300	
			W55+18-L60	500	500	500	500	–	–	5337.5	–	5319	–		3300	
			W60+18-L55	500	500	500	500	–	–	5937.5	–	5919	–		3300	
			W60+18-L60	500	500	500	500	–	–	5937.5	–	5919	–		3300	
1500タイプ	1+2台用横連棟	6本	W30+55-L55	500	500	500	500	500	500	5337.5	2937.5	5319	2919		3300	
			W30+55-L60	500	500	500	500	500	500	5337.5	2937.5	5319	2919		3300	
			W30+60-L55	500	500	500	500	500	500	5937.5	2937.5	5919	2919		3300	
			W30+60-L60	500	500	550	500	500	500	5937.5	2937.5	5919	2919		3300	
	2+2台用横連棟		W55+55-L55	500	500	550	550	–	–	5337.5	5337.5	5319	5319		3300	
			W55+55-L60	500	500	600	550	–	–	5337.5	5337.5	5319	5319		3300	
			W60+60-L55	500	500	600	550	–	–	5937.5	5937.5	5919	5919		3300	
			W60+60-L60	500	500	600	600	–	–	5937.5	5937.5	5919	5919		3300	
	18延長	4本	W55+18-L55	500	500	500	500	–	–	5337.5	–	5319	–		3300	
			W55+18-L60	500	500	550	500	–	–	5337.5	–	5319	–		3300	
			W60+18-L55	500	500	550	500	–	–	5937.5	–	5919	–		3300	
			W60+18-L60	500	500	550	550	–	–	5937.5	–	5919	–		3300	
3000タイプ	1+2台用横連棟	9本	W30+55-L55	600	550	750	700	500	500	5337.5	2937.5	5319	2919		2000	
			W30+55-L60	600	600	750	750	500	500	5337.5	2937.5	5319	2919		2200	
			W30+60-L55	600	600	750	750	500	500	5937.5	2937.5	5919	2919		2000	
			W30+60-L60	650	650	800	800	500	500	5937.5	2937.5	5919	2919		2200	
	2+2台用横連棟		W55+55-L55	600	550	850	800	–	–	5337.5	5337.5	5319	5319		2000	
			W55+55-L60	600	600	850	850	–	–	5337.5	5337.5	5319	5319		2200	
			W60+60-L55	600	600	900	850	–	–	5937.5	5937.5	5919	5919		2000	
			W60+60-L60	650	650	900	900	–	–	5937.5	5937.5	5919	5919		2200	
	18延長	6本	W55+18-L55	600	550	750	750	–	–	5337.5	–	5319	–		2000	
			W55+18-L60	600	600	800	800	–	–	5337.5	–	5319	–		2200	
			W60+18-L55	600	600	800	750	–	–	5937.5	–	5919	–		2000	
			W60+18-L60	650	650	850	800	–	–	5937.5	–	5919	–		2200	
4500タイプ	1+2台用横連棟	12本	W30+55-L55	600	600	800	750	550	500	5337.5	2937.5	5319	2919		1400	
			W30+55-L60	650	650	800	800	550	550	5337.5	2937.5	5319	2919		1600	
			W30+60-L55	650	650	800	800	550	500	5937.5	2937.5	5919	2919		1400	
			W30+60-L60	700	650	850	800	550	550	5937.5	2937.5	5919	2919		1600	
	2+2台用横連棟		W55+55-L55	600	600	900	850	–	–	5337.5	5337.5	5319	5319		1400	
			W55+55-L60	650	650	900	900	–	–	5337.5	5337.5	5319	5319		1600	
			W60+60-L55	650	650	900	900	–	–	5937.5	5937.5	5919	5919		1400	
			W60+60-L60	700	650	950	950	–	–	5937.5	5937.5	5919	5919		1600	
	18延長	8本	W55+18-L55	600	600	800	800	–	–	5337.5	–	5319	–		1400	
			W55+18-L60	650	650	850	800	–	–	5337.5	–	5319	–		1600	
			W60+18-L55	650	650	850	800	–	–	5937.5	–	5919	–		1400	
			W60+18-L60	700	650	850	850	–	–	5937.5	–	5919	–		1600	

ポイント

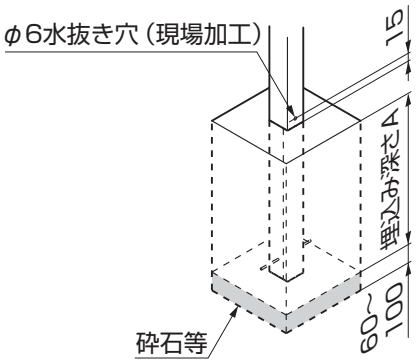
●横連棟30+50もしくは30+60のときは、DW1・DL1寸法が55側もしくは60側の基礎寸法になり、DW1’・DL1’寸法が30側の基礎寸法になります。

注 意

●中間柱の間口方向の移動はできません。間口方向へ柱を移動した場合、強度低下により本体倒壊が想定されます。

1-2 柱の埋込み

（1）柱を切断せず埋込む場合



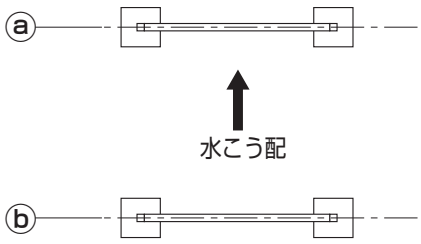


図1-13　梁2列

表1-3　埋込み寸法

サイズ	地域	埋込み深さA	
		ⓐ	ⓑ
長さ55	標準	687	572
	凍上	1187	1072
長さ60	標準	687	572
	凍上	1187	1072

※丸柱は表寸法－1mm

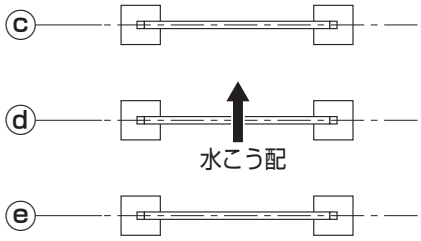


図1-14　梁3列

表1-4　埋込み寸法

サイズ	地域	埋込み深さA		
		ⓒ	ⓓ	ⓔ
長さ55	標準	687	617	547
	凍上	1187	1117	1047
長さ60	標準	687	610	533
	凍上	1187	1110	1033

※丸柱は表寸法－1mm

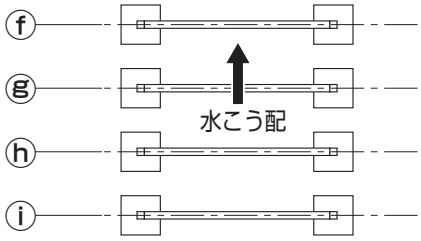


図1-15　梁4列

表1-5　埋込み寸法

サイズ	地域	埋込み深さA			
		ⓕ	ⓖ	ⓗ	ⓘ
長さ55	標準	687	638	589	540
	凍上	1187	1138	1089	1040
長さ60	標準	687	631	575	519
	凍上	1187	1131	1075	1019

※丸柱は表寸法－1mm

①基礎穴を掘り、柱を埋込んでください。

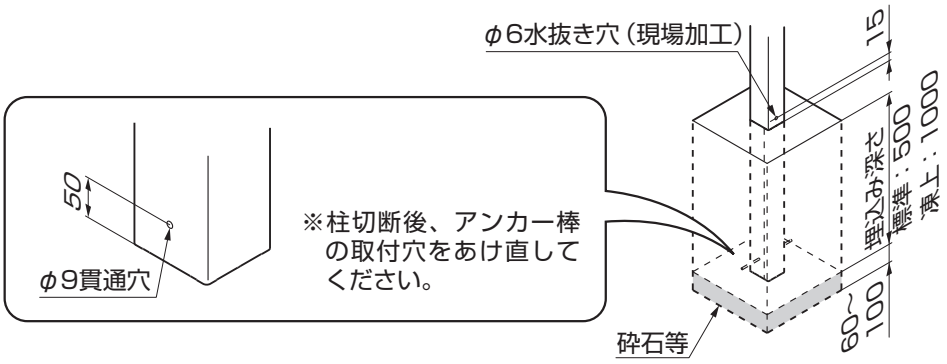
注意

●埋込み寸法は柱が標準位置のときのものです。柱移動により埋込み寸法を変える場合は、傾斜2°（35/1000）を守ってください。折板からの雨水逆流漏れの原因となります。

ポイント

●単体、横連棟、18延長の場合でも埋込み深さは同じです。

(2) 柱を切断して（柱埋込み深さを統一して）埋込む場合



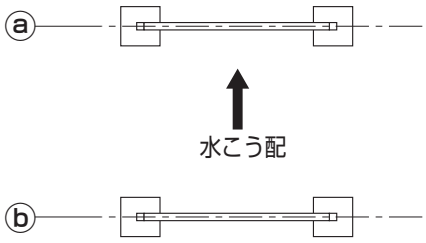


図1-16　梁2列

表1-6　切断寸法

サイズ	地域	埋込み深さ	柱切断寸法 ⓐ	柱切断寸法 ⓑ
長さ55	標準	500	187	72
	凍上	1000		
長さ60	標準	500	187	72
	凍上	1000		

※丸柱は表寸法－1mm

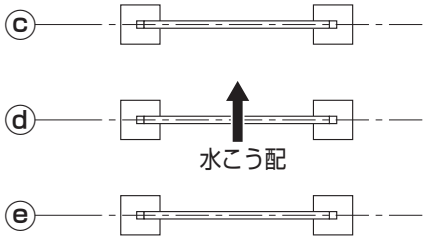


図1-17　梁3列

表1-7　切断寸法

サイズ	地域	埋込み深さ	柱切断寸法 ⓒ	柱切断寸法 ⓓ	柱切断寸法 ⓔ
長さ55	標準	500	187	117	47
	凍上	1000			
長さ60	標準	500	187	110	33
	凍上	1000			

※丸柱は表寸法－1mm

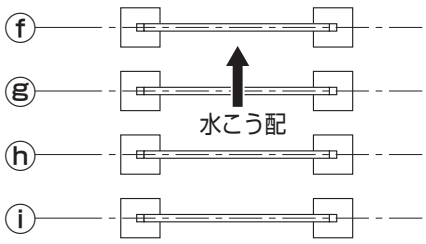


図1-18　梁4列

表1-8　切断寸法

サイズ	地域	埋込み深さ	柱切断寸法 ⓕ	柱切断寸法 ⓖ	柱切断寸法 ⓗ	柱切断寸法 ⓘ
長さ55	標準	500	187	138	89	40
	凍上	1000				
長さ60	標準	500	187	131	75	19
	凍上	1000				

※丸柱は表寸法－1mm

①基礎穴を掘り、柱を埋込んでください。

ポイント

●単体、横連棟、18延長の場合でも同じ寸法での切断になります。

2. 梁・タイトフレームの組立て

2-1 基本仕様の場合

（1）梁の連結（基本仕様 幅80サイズの場合）

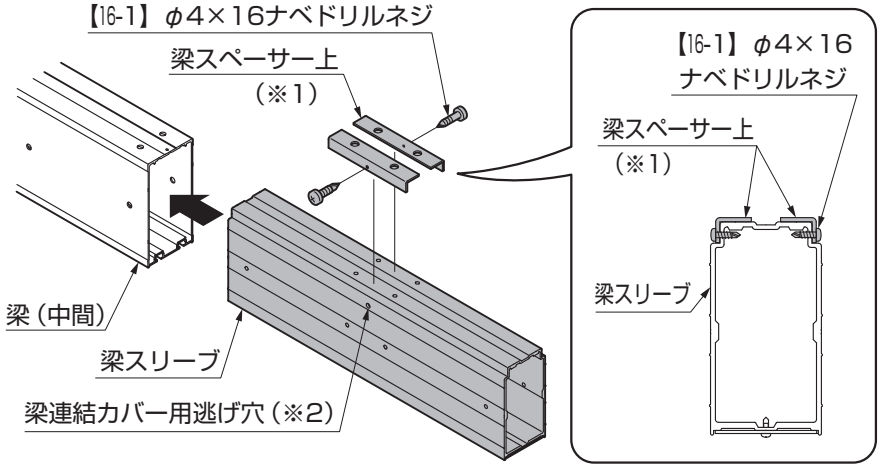


図2-1

①梁スリーブに梁スペーサー上を【16-1】で2個取付けてください。（図2-1参照）

ポイント

- ●幅80サイズで梁を連結する際は、製品破損のおそれがあるため、必ず梁スペーサー上を取付けてください。
- ●梁スリーブ上部の加工穴と梁スペーサー上の加工穴を合わせて取付けてください。
- ●梁スペーサー上が浮かないようにしてください。（※1）
- ●梁スリーブを梁へ挿入した際に梁スリーブの「梁連結カバー用逃げ穴」が梁連結部の左右どちらになるか、向きを決めて施工してください。逃げ穴がない位置に梁連結カバーの取付けネジを打つと、ネジの締込みができない、およびネジ頭の破損が想定され、梁連結カバーが正しく取付けできません。（※2）

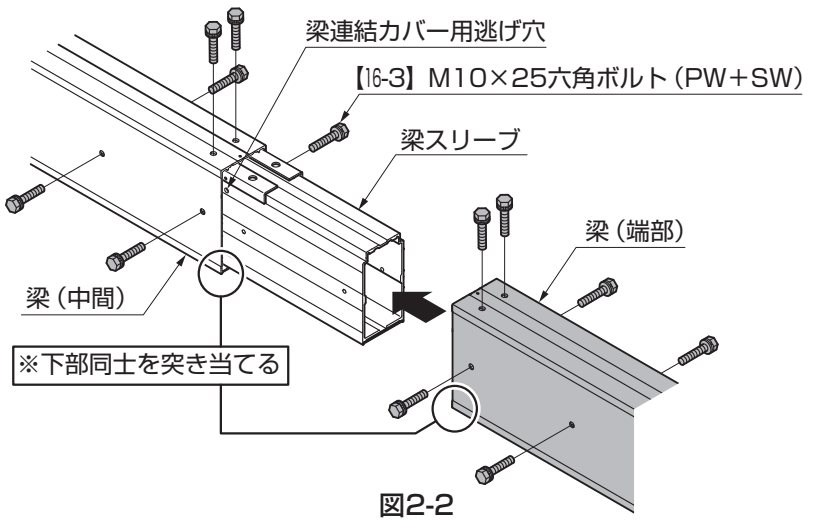


図2-2

②梁（中間）に梁スリーブを挿入してください。（図2-1参照）

③梁（端部）を梁スリーブに挿入し【16-3】で連結してください。（図2-2参照）

ポイント

- ●連結の際は、梁下部同士を突き当ててください。
- ●梁の上部には、若干すき間があきます。

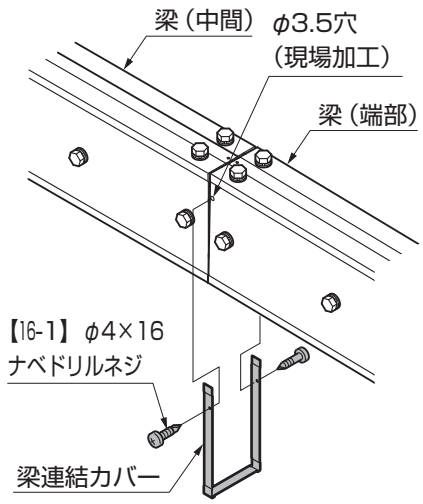


図2-3

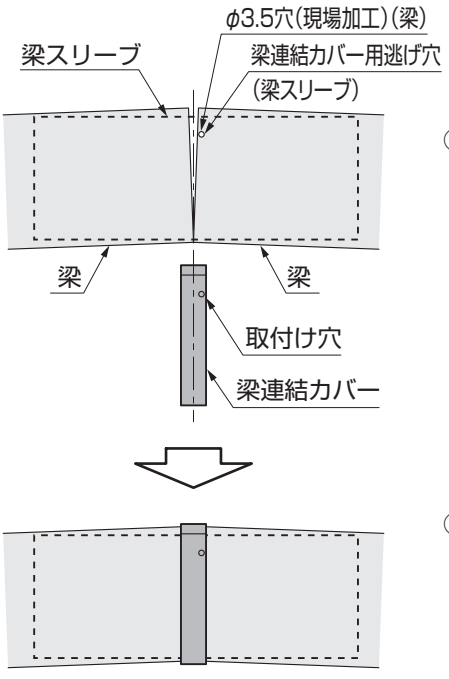


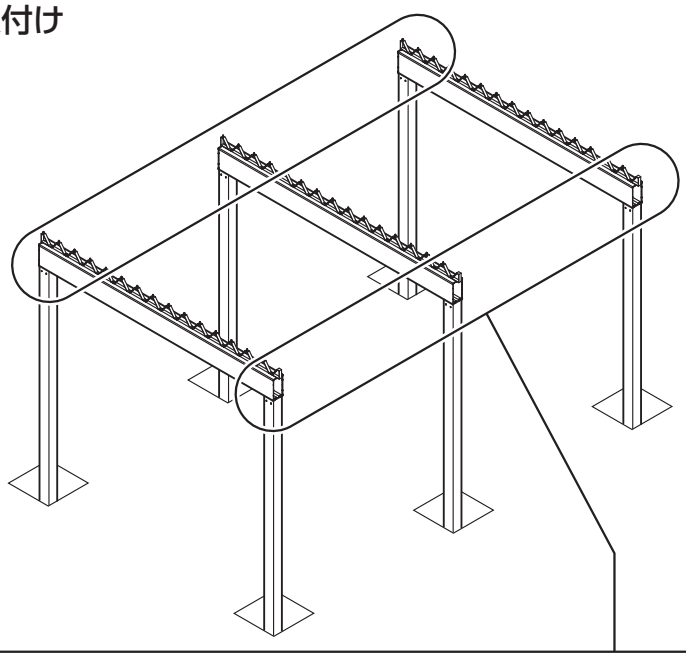
図2-4

④梁スリーブの「梁連結カバー用逃げ穴」の位置に合わせて、梁に梁連結カバー取付用の下穴φ3.5をあけてください。（図2-3、図2-4参照）

梁連結全体図

⑤梁連結部に梁連結カバーを【16-1】で取付けてください。（図2-3参照）

（2）梁固定金具の取付け



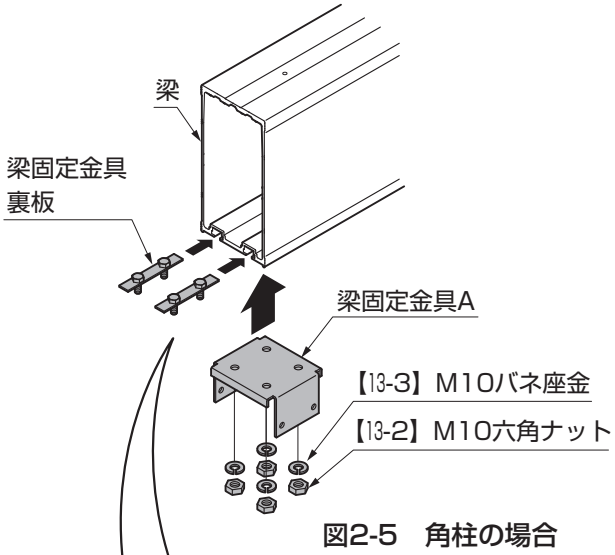


図2-5　角柱の場合

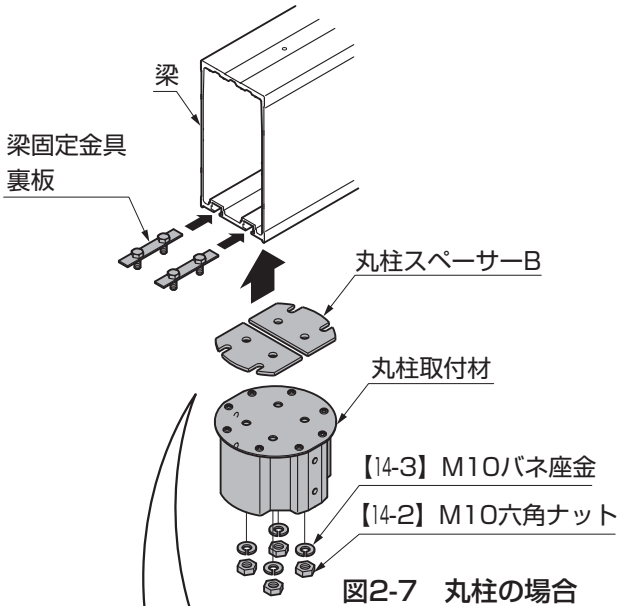


図2-7　丸柱の場合

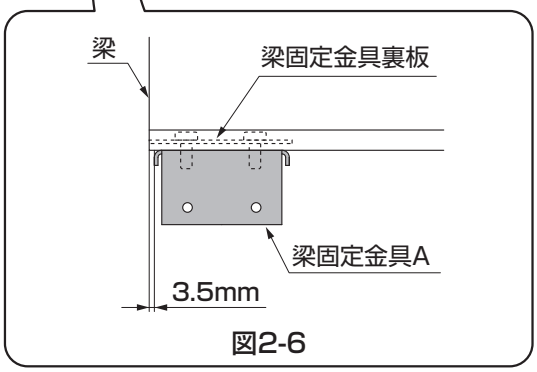


図2-6

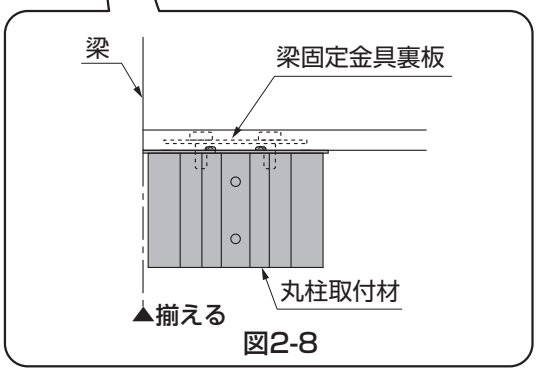


図2-8

①梁に梁固定金具裏板を挿入し、梁固定金具A（または丸柱スペーサーBと丸柱取付材）を【13-2】、【13-3】（または【14-2】、【14-3】）で取付けてください。

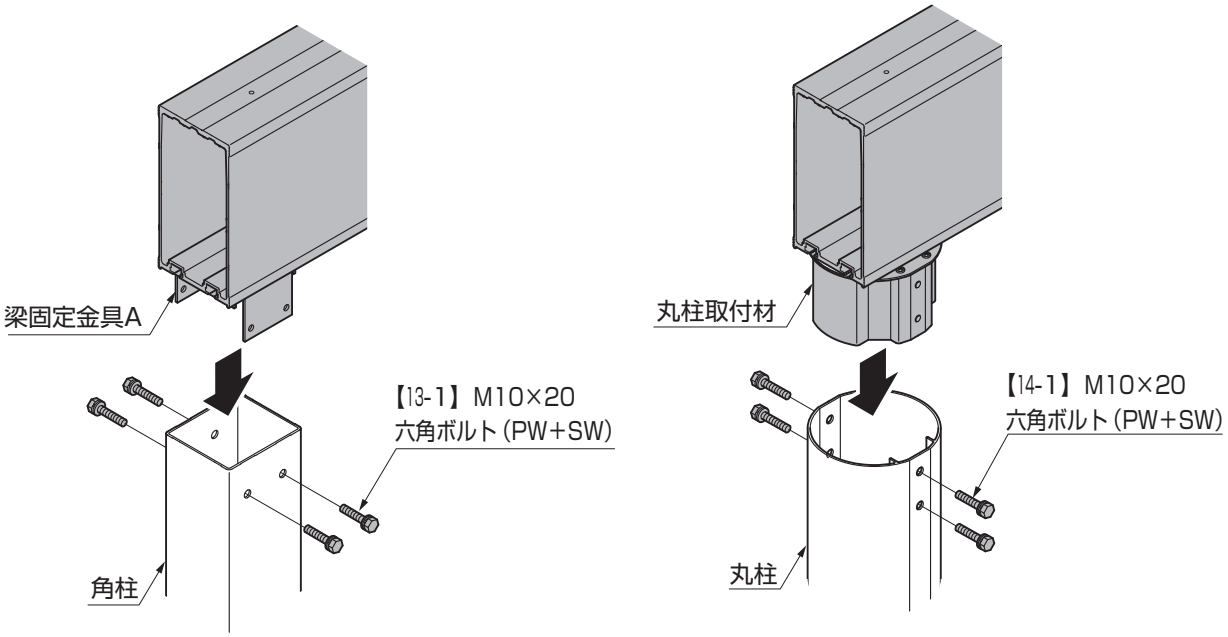
ポイント

●梁固定金具A、丸柱取付材の取付け位置に注意してください。（図2-6、図2-8参照）

2.（つづき）

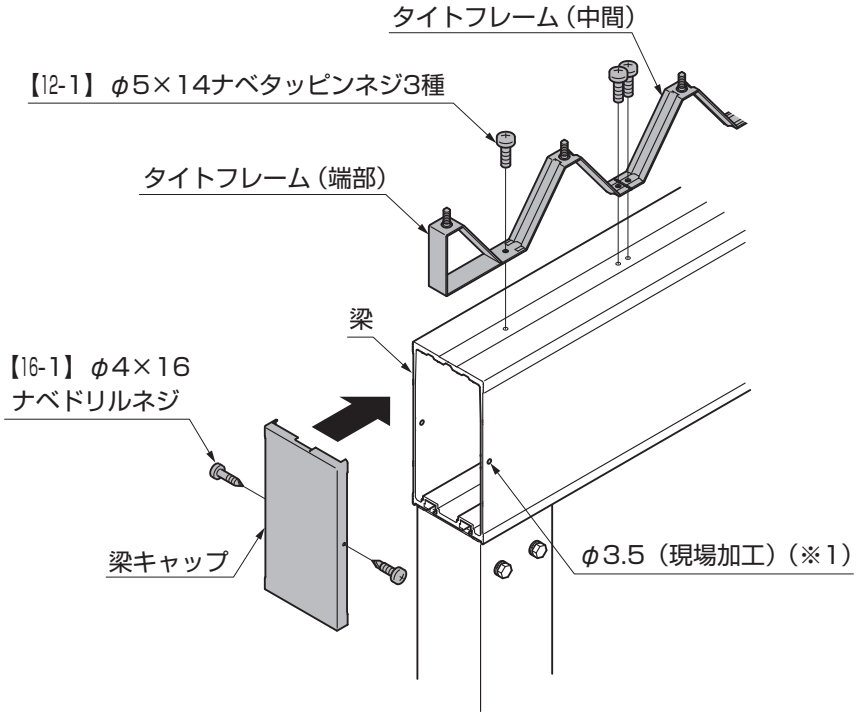
2-1 つづき

（3）柱と梁の固定



①柱に梁固定金具A（または丸柱取付材）を差込み、【13-1】（または【14-1】）で固定してください。

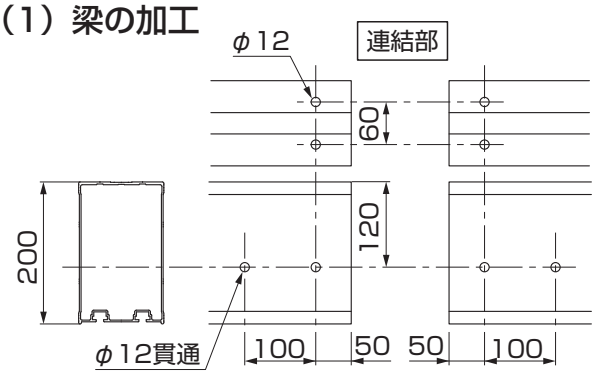
（4）タイトフレーム・梁キャップの取付け



①梁にタイトフレームを【12-1】で取付けてください。
②梁キャップを梁に仮当てし、取付用の下穴φ3.5を梁にあけてください。（※1）
③梁に梁キャップを【16-1】で取付けてください。

2-2　横連棟仕様・幅18延長仕様の場合

（1）梁の加工



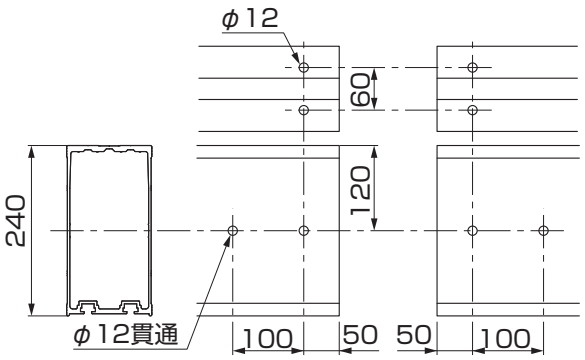
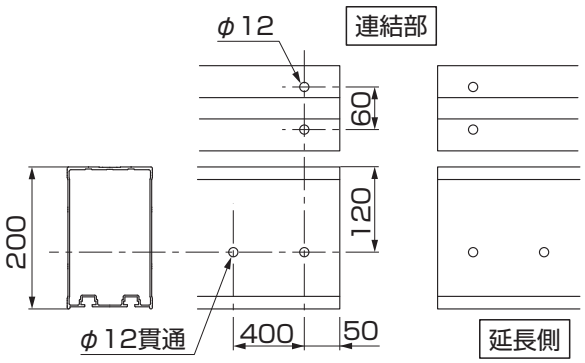


図2-9　横連棟仕様



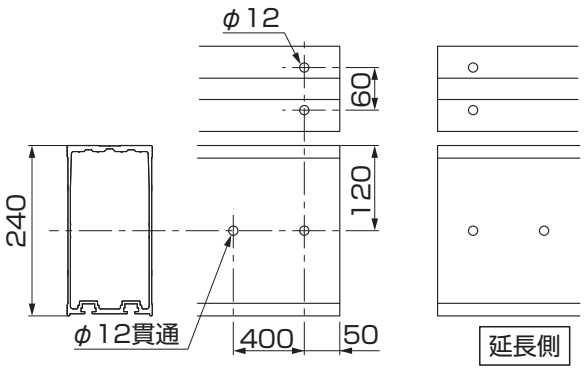


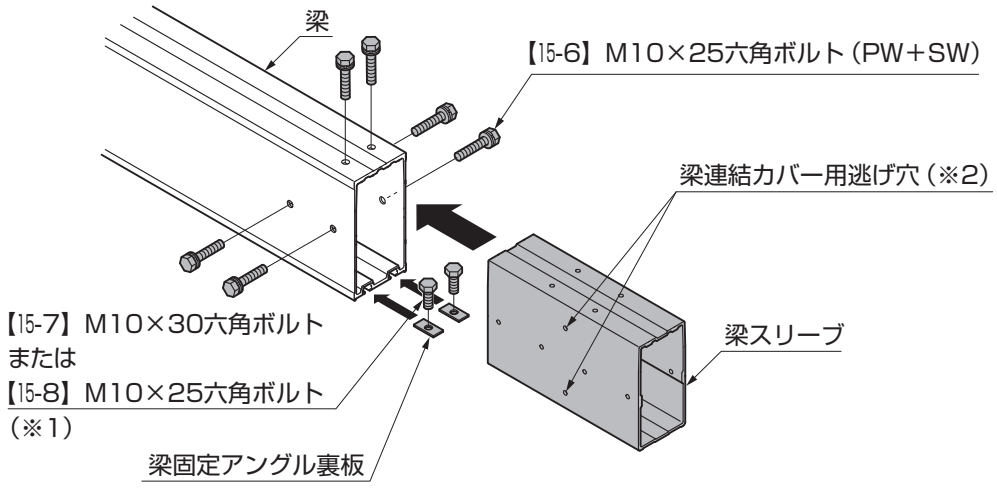
図2-10　幅18延長仕様

①図2-9、図2-10のように梁に穴加工してください。

ポイント

●幅18延長の延長側の梁は工場出荷時点で加工済みです。本体側のみ現場加工となります。

（2）梁の連結



①梁に【15-7】（角柱の場合）または【15-8】（丸柱の場合）、梁固定アングル裏板を挿入してください。（※1）
②梁に梁スリーブを挿入し、【15-6】で取付けてください。

ポイント

●梁スリーブを梁へ挿入した際に梁スリーブの「梁連結カバー用逃げ穴」が梁連結部の左右どちらになるか、向きを決めて施工してください。逃げ穴がない位置に梁連結カバーの取付けネジを打つと、ネジの締込みができない、およびネジ頭の破損が想定され、梁連結カバーが正しく取付けできません。（※2）

2-3　中間柱部の施工（横連棟・幅18延長仕様）

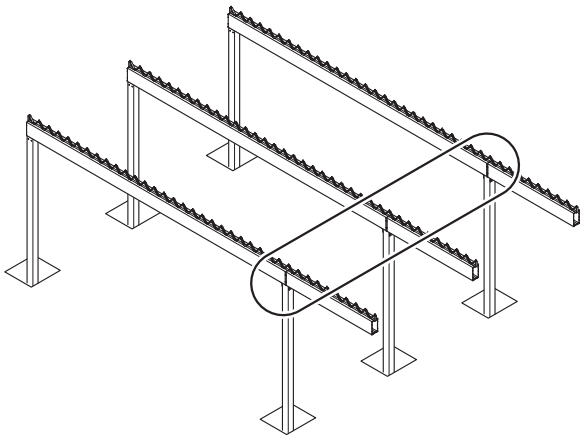


図2-11　幅18延長仕様

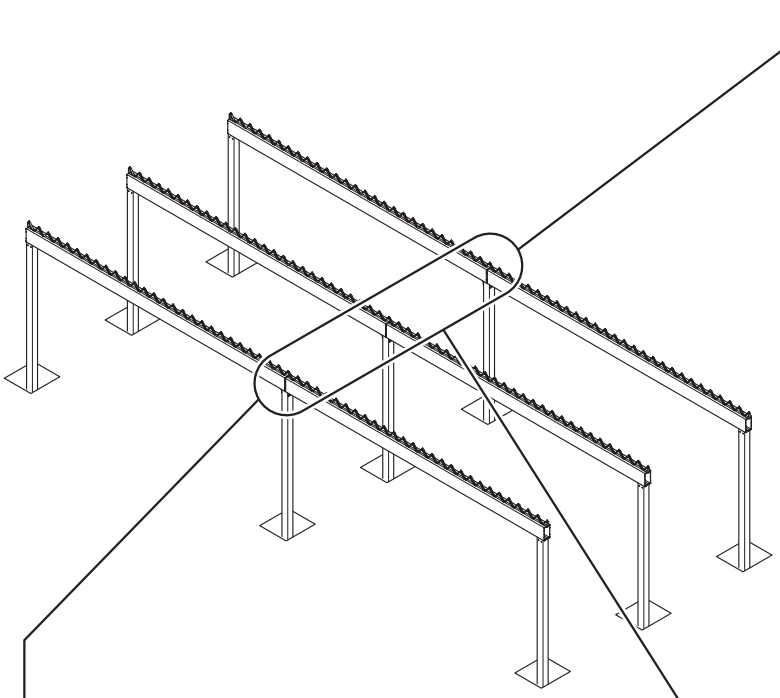


図2-12　横連棟仕様

（3）梁固定アングル／梁固定金具（丸柱連棟用）の取付け

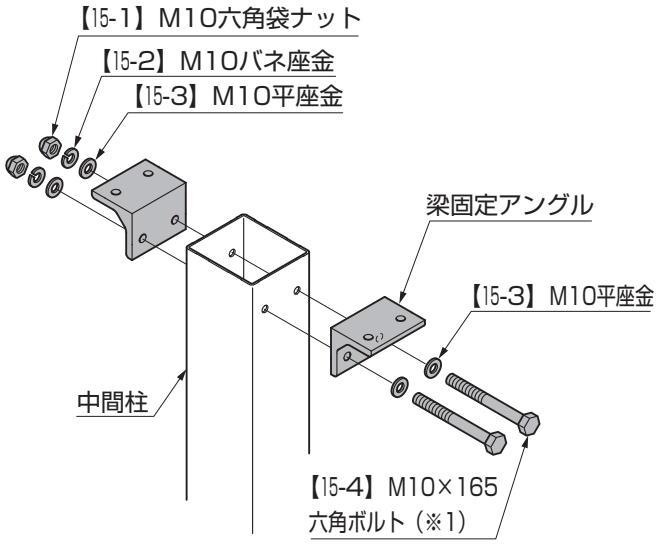


図2-13　角柱の場合

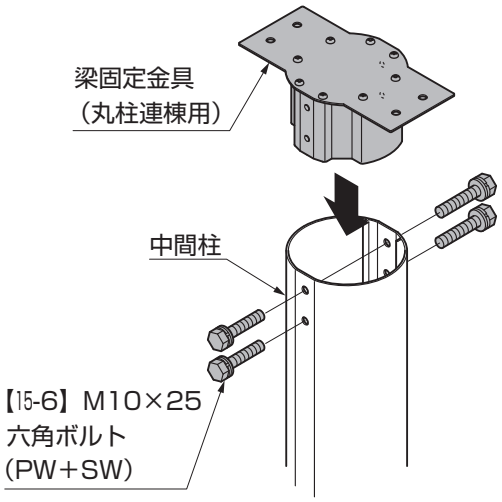


図2-14　丸柱の場合

①柱に梁固定アングルを【15-1】、【15-2】、【15-3】、【15-4】で取付けてください。

ポイント

●3000、4500タイプの場合は梁固定アングルを【15-5】（※1）で取付けてください。
●丸柱の場合は、梁固定金具（丸柱連棟用）を【15-6】で取付けてください。

(4) 柱と梁の固定

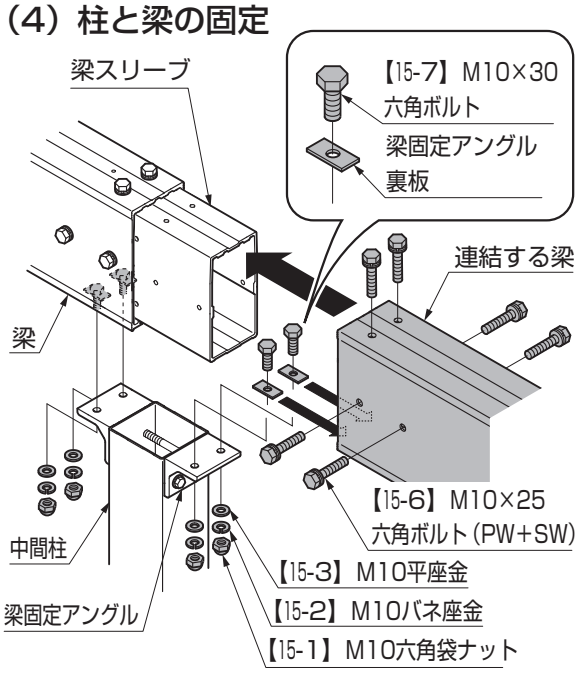


図2-15　角柱の場合

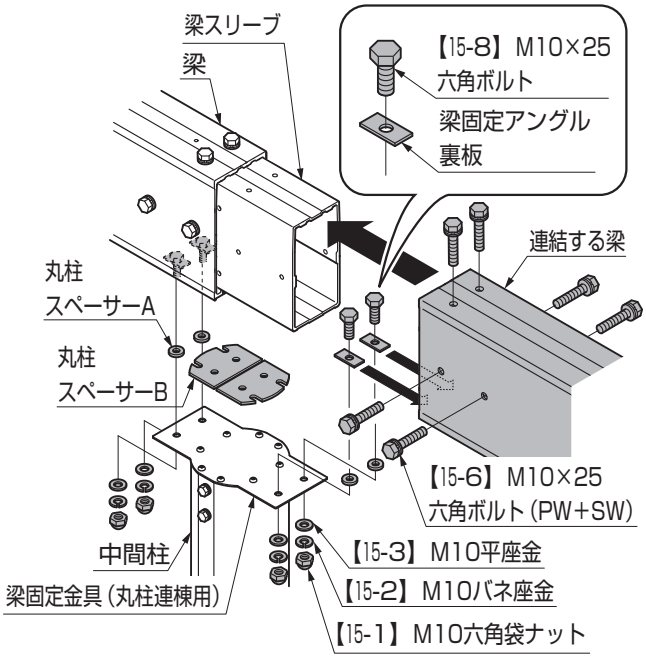


図2-16　丸柱の場合

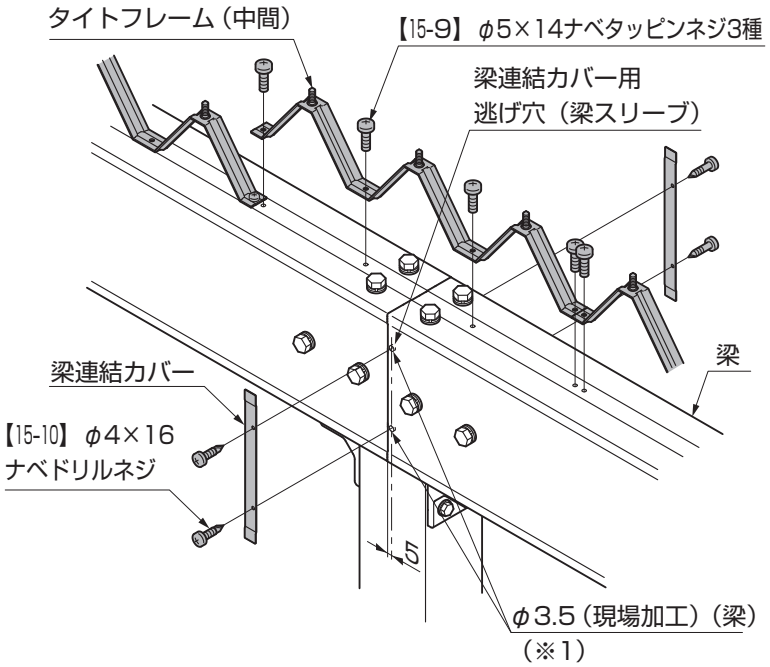
①連結する梁に【15-7】(角柱の場合)または【15-8】(丸柱の場合)、梁固定アングル裏板を挿入してください。
②梁固定アングル(または梁固定金具(丸柱連棟用))と梁に挿入した【15-7】(または【15-8】)を【15-1】、【15-2】、【15-3】で固定してください。

ポイント

●丸柱の場合は、梁固定金具(丸柱連棟用)に丸柱スペーサーAと丸柱スペーサーBを取付けてください。

③連棟する梁を梁スリーブに【15-6】で固定してください。

(5) タイトフレーム・梁連結カバーの取付け



①梁にタイトフレームを【12-1】で取付けてください。
(梁連結部は「梁連結部品セット」のタイトフレームを【15-9】で取付けてください。)

②梁スリーブの「梁連結カバー用逃げ穴」のある梁に、梁連結カバー取付用の下穴φ3.5をあけてください。(※1)

③梁連結部に梁連結カバーを【15-10】で取付けてください。

3. 横材・振れ軽減部材の取付け　オプション

※横材・振れ軽減部材を取付ける場合の作業です。

3-1　横材を取付ける場合

（1）横材の加工

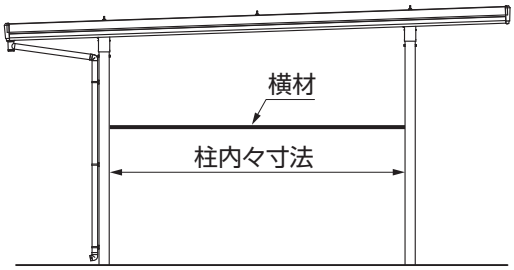


図3-1

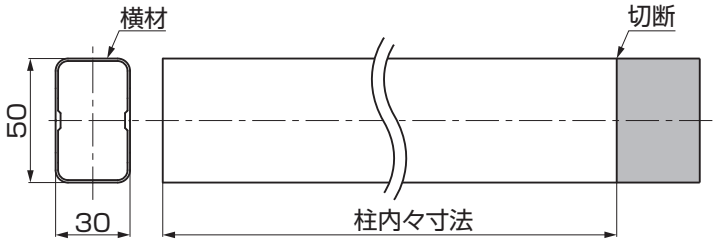


図3-2

表3-1　横材切断寸法

奥行 柱ピッチ	奥行柱内々寸法＝横材切断寸法	
	角柱	丸柱
1400	1290	1244
1600	1490	1444
2000	1890	1844
2200	2090	2044
3300	3190	3144

①柱スパンを狭くした場合は、柱内々寸法に合わせて切断してください。

（2）横材の取付け　※（　）内寸法はロング柱25、（（　））内寸法はロング柱30の寸法です。

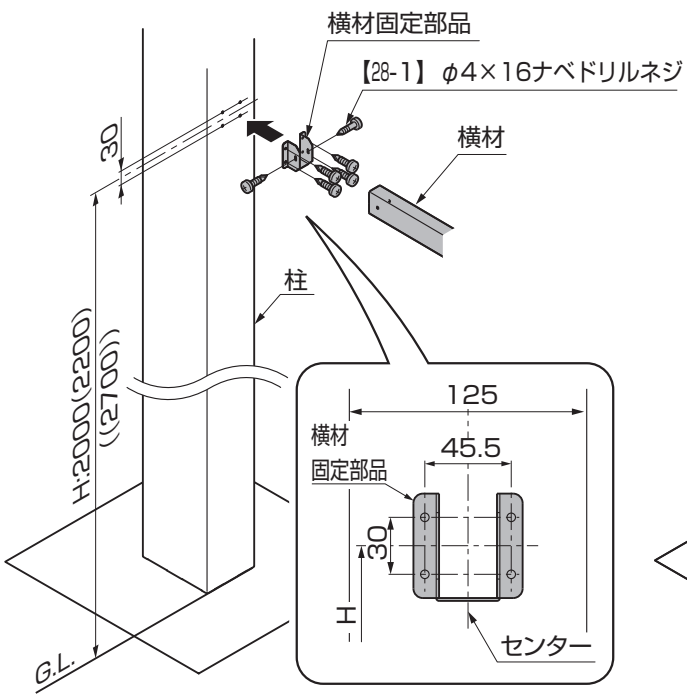


図3-3　角柱の場合

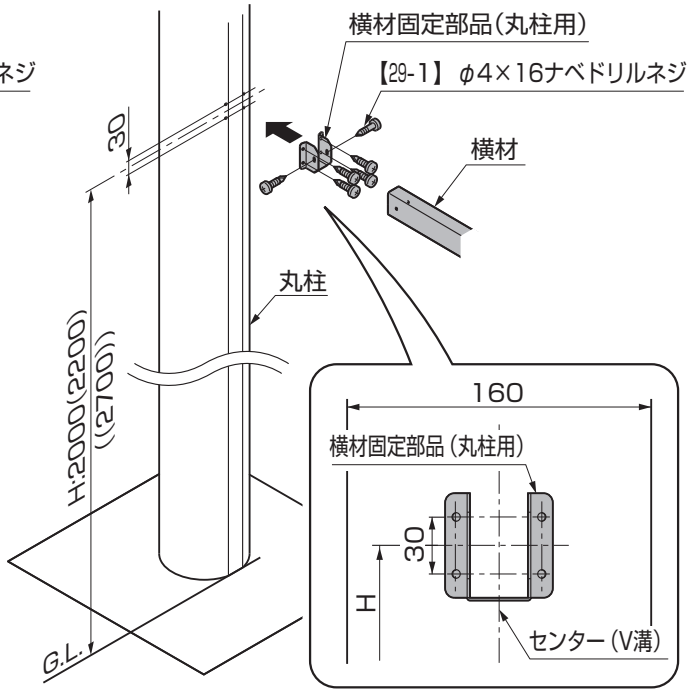


図3-4　丸柱の場合

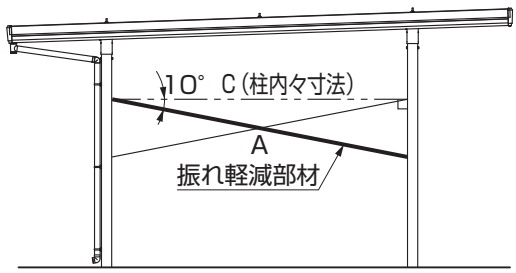
①柱に横材固定部品を【28-1】（または【29-1】）で取付けてください。
②横材固定部品に横材を【28-1】（または【29-1】）で取付けて、柱の水平・垂直を確認してください。

ポイント

●横材取付け高さは任意ですが、G.L.から2000（2200）（（2700））を目安としてください。

3-2　振れ軽減部材を取付ける場合

（1）振れ軽減部材の加工



【A寸法算出計算式】
A＝C／cos10－13
＝（柱内々寸法÷0.9848）－13

図3-5

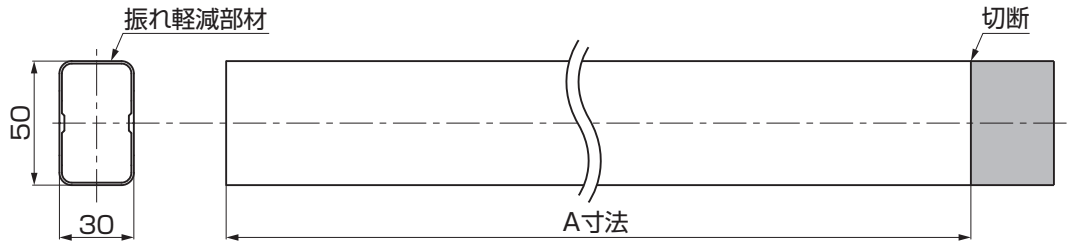


図3-6

表3-2　振れ軽減部材切断寸法

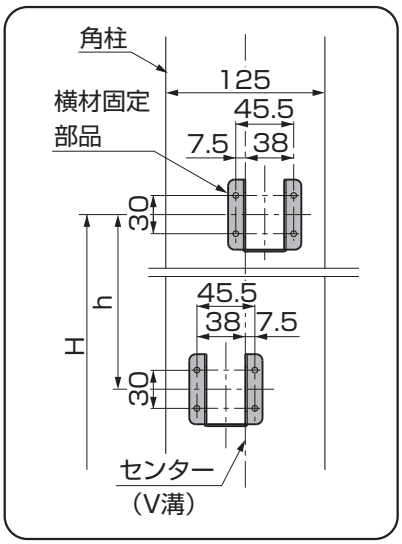
奥行 柱ピッチ	角柱			丸柱		
	柱内々寸法	振れ軽減部材		柱内々寸法	振れ軽減部材	
		切断寸法（A）	金具ピッチ（h）		切断寸法（A）	金具ピッチ（h）
1400	1290	1297	221	1244	1250	213
1600	1490	1500	257	1444	1453	249
2000	1890	1906.5	327	1844	1859	319
2200	2090	2109.5	363	2044	2063	354
3300	3190	3226.5	556	3144	3180	548

※金具ピッチ（h）は、次ページ 図3-7、図3-8を参照してください。

D522_201105A
MAM-45_201105

3-2 つづき

(2) 振れ軽減部材の取付け



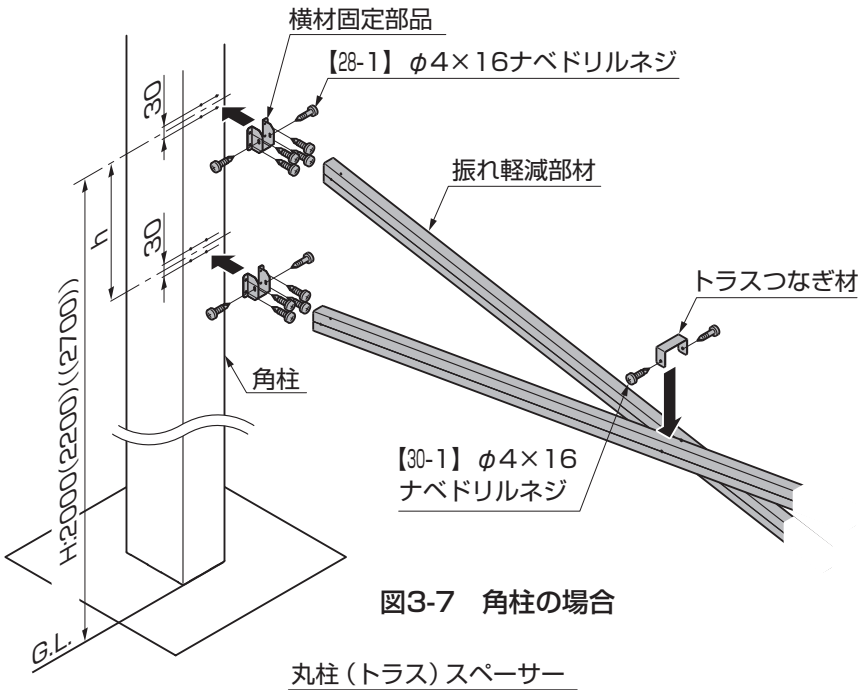
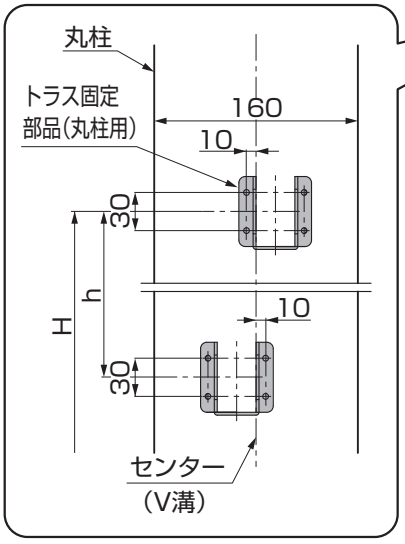


図3-7 角柱の場合



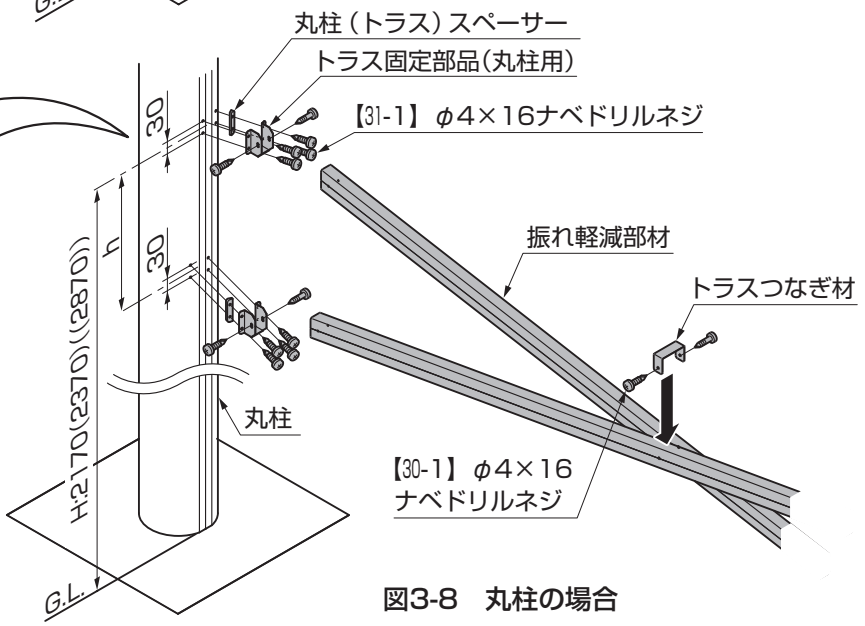
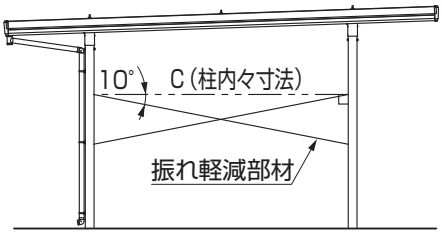


図3-8 丸柱の場合

①柱に上側の横材固定部品を【28-1】(または【31-1】)で取付けてください。
②下側の横材固定部品を【28-1】(または【31-1】)で取付けてください。
③横材固定部品に振れ軽減部材を【28-1】(または【31-1】)で取付けて、柱の水平・垂直を確認してください。
④2本の振れ軽減部材のクロスする部分にトラスつなぎ材を【30-1】で取付けてください。

ポイント

●振れ軽減部材取付け高さは任意ですが、上側はG.L.から2170 (2370) ((2870)) を目安としてください。
●( ) 内寸法はロング柱25、(( )) 内寸法はロング柱30の寸法です。



【h寸法算出計算式】
h=C×tan10−6
=(柱内々寸法×0.1763)−6

ポイント

●柱スパンを移動した場合は、h寸法算出計算式にてh寸法を算出してください。

4. 折板・側枠の取付け

4-1 折板・側枠の加工

呼称長さ	折板長さ	側面から見た柱本数		加工位置（水上側 ― 水下側）
28	2800	2	折板	φ12穴加工　2800　549　1701　550
			側枠	φ12穴加工　549　1701　550
55	5400	2	折板	φ12穴加工　5400　1049　3302　1049
			側枠	φ12穴加工　1049　3302　1049
		3	折板	φ12穴加工　5400　699　2001　2001　699
			側枠	φ12穴加工　699　2001　2001　699
		4	折板	φ12穴加工　5400　598.5　1401　1401　1401　598.5
			側枠	φ12穴加工　5400　598.5　1401　1401　1401　598.5
60	6000	2	折板	φ12穴加工　6000　1349　3302　1349
			側枠	φ12穴加工　1349　3302　1349
		3	折板	φ12穴加工　6000　799　2201　2201　799
			側枠	φ12穴加工　799　2201　2201　799
		4	折板	φ12穴加工　6000　598.5　1601　1601　1601　598.5
			側枠	φ12穴加工　598.5　1601　1601　1601　598.5

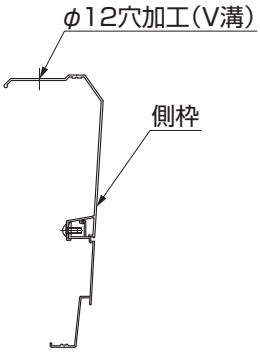


図4-1　側枠穴位置詳細

①図4-1を参照して、折板と側枠を加工してください。

ポイント

- ●柱移動をした場合は、穴位置を移動した柱に合わせて加工してください。
- ●折板加工後は、折板から切粉を取り除いてください。サビの原因になります。

4-2　化粧枠の取付け　オプション

※化粧枠を取付ける場合の作業です。
※前後枠を連結する場合、P.33へ前後枠の化粧枠の加工を記載してあります。

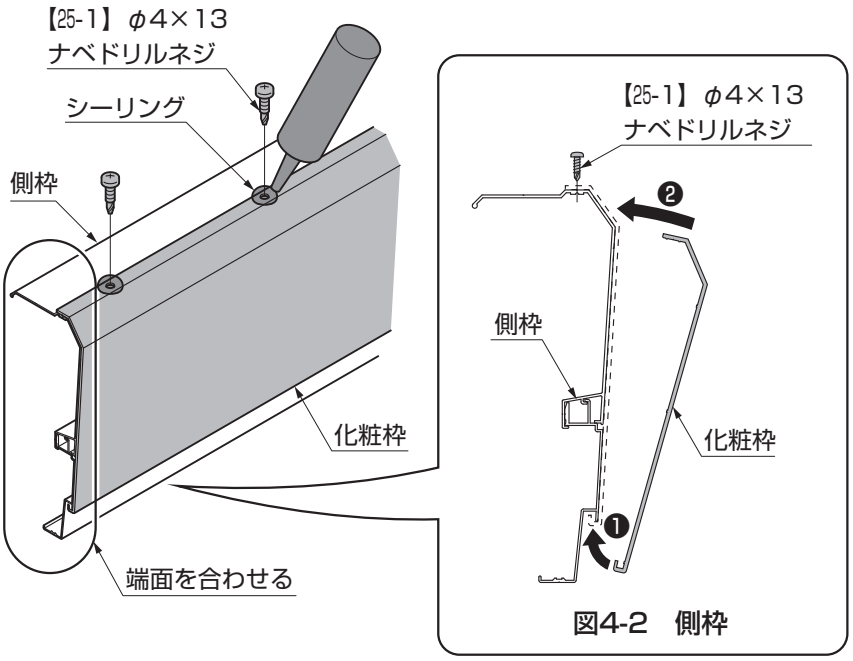


図4-2　側枠

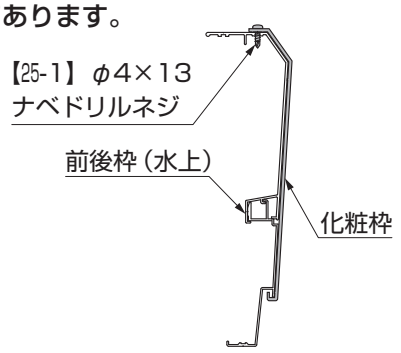


図4-3　前後枠（水上）

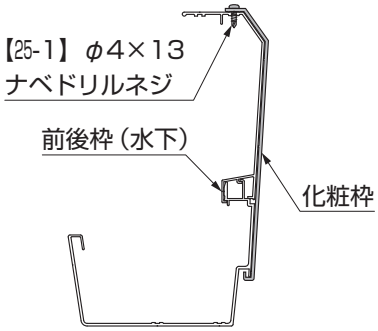
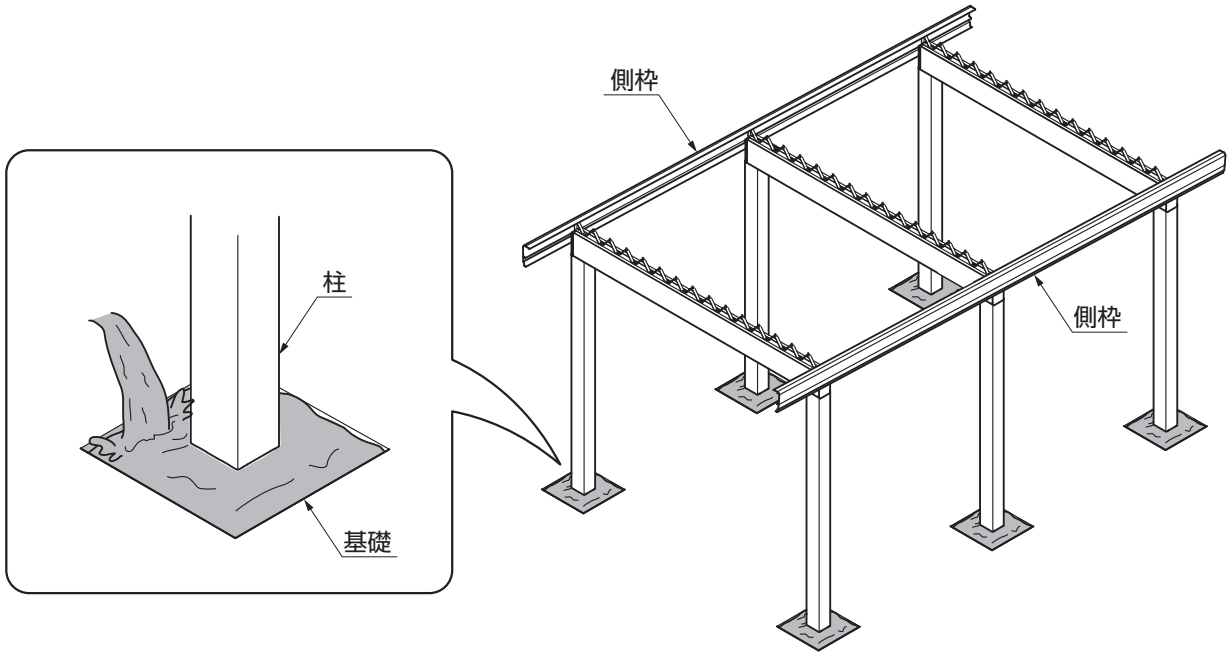


図4-4　前後枠（水下）

①化粧枠を側枠、前後枠（水上）、前後枠（水下）、の端面に合わせて、❶、❷の順でかぶせて【25-1】で取付けてください。

4-3　基礎コンクリートの打設



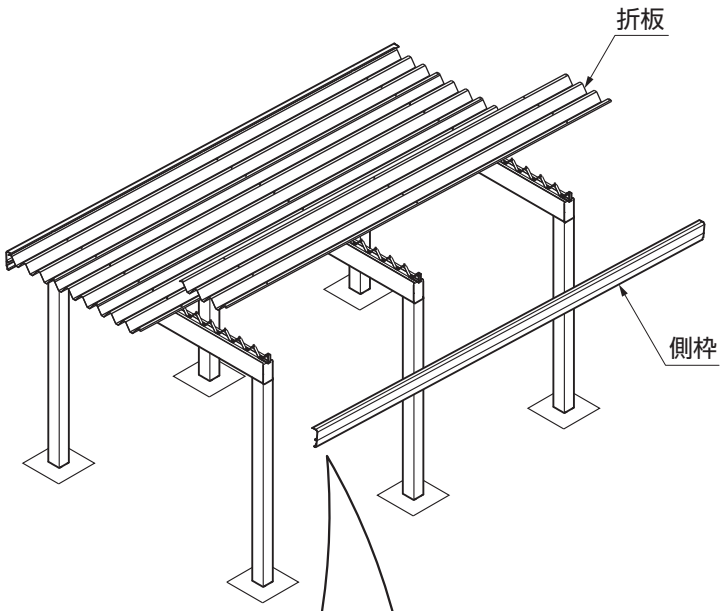
①横材・振れ軽減部材を取付けない場合、P.29で加工した側枠を仮組付けして、梁の水平・柱の垂直を確認したあと、基礎コンクリートを打設してください。

ポイント

●横材・振れ軽減部材を取付ける場合は、側枠の仮組付けは必要ありません。梁の水平・柱の垂直を確認したあと、基礎コンクリートを打設してください。

4-4　折板・側枠の取付け

（1）折板・側枠の取付け



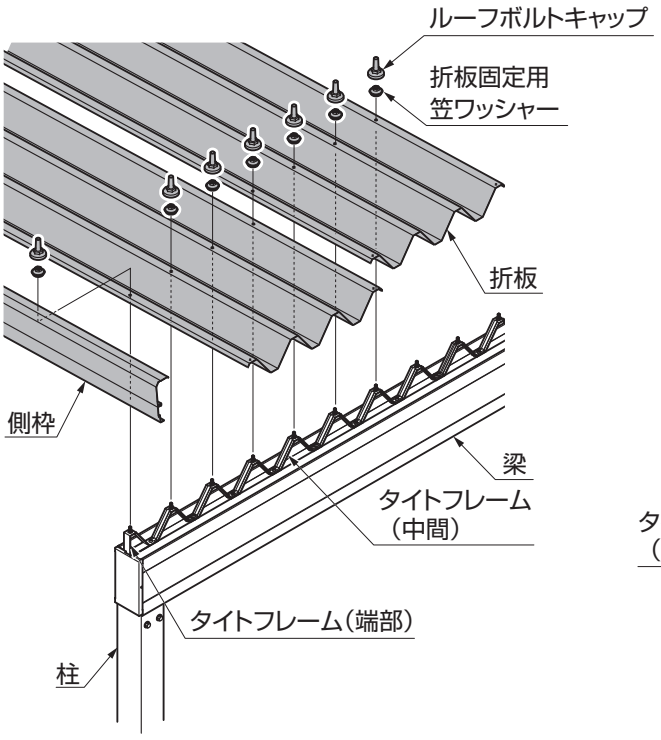


図4-5

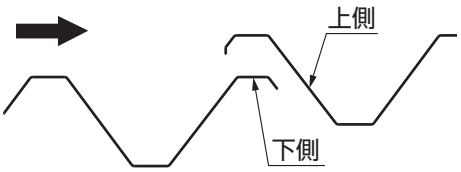


図4-6　折板重なり部詳細図

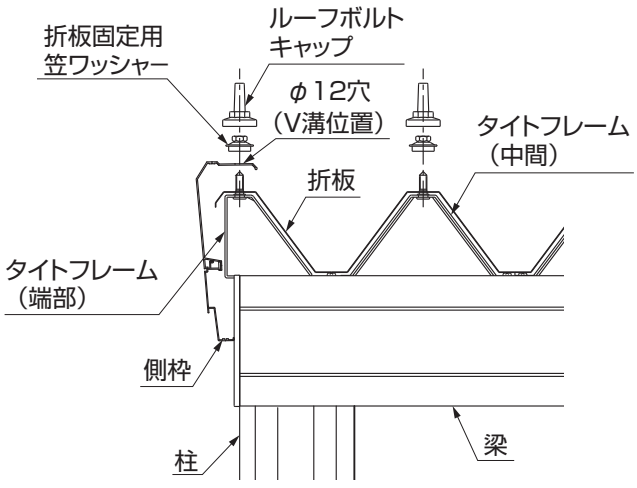


図4-7

①仮組付けしてある側枠を一旦外してください。
②折板をタイトフレームに取付け、折板固定用笠ワッシャーとルーフボルトキャップで固定してください。

ポイント

●折板の重なり部分は形状が合うように向きに注意し、片側から順に敷き詰めてください。（図4-6参照）

③側枠をタイトフレームに取付け、折板固定用笠ワッシャーとルーフボルトキャップで固定してください。

4.（つづき）

4-4 （つづき）

（2）折板ボルトの取付け　※単体4本柱タイプの場合（延長・連棟時も同様）の作業です。

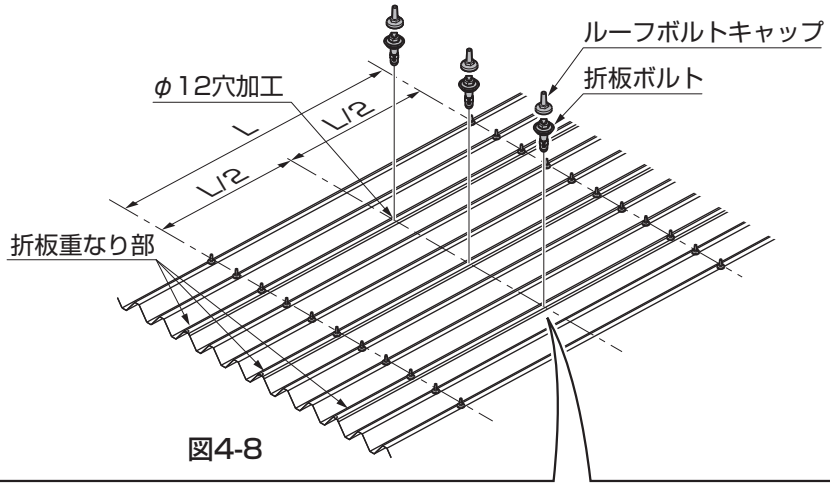


図4-8

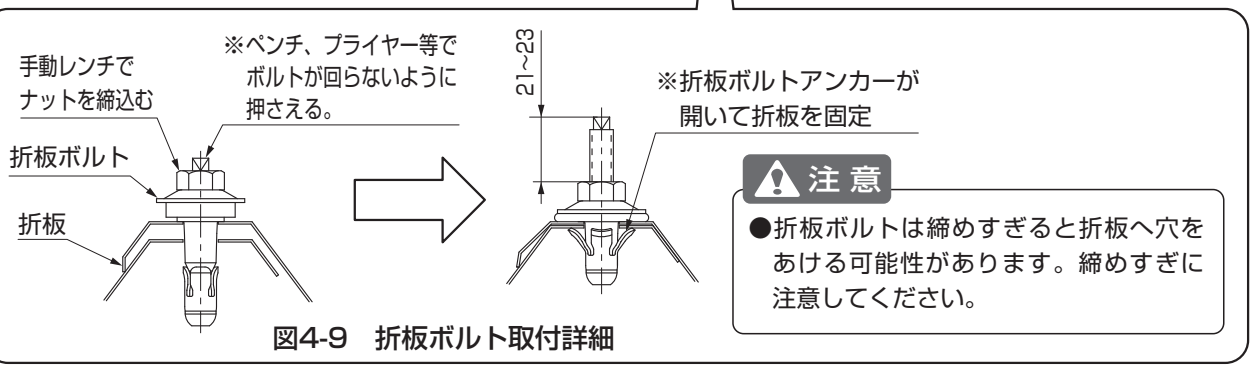


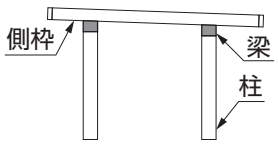
図4-9　折板ボルト取付詳細

①図4-8を参照して、梁と梁の中間の折板重なり部にφ12の穴加工をしてください。
②折板に折板ボルトを取付けてください。
③ルーフボルトキャップを取付けてください。

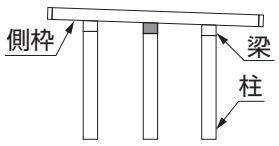
4-5 側枠取付金具の取付

：側枠取付金具取付け位置

（4本柱）



（6本柱）



（8本柱）

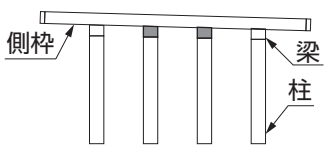


図4-10　側枠取付金具取付位置

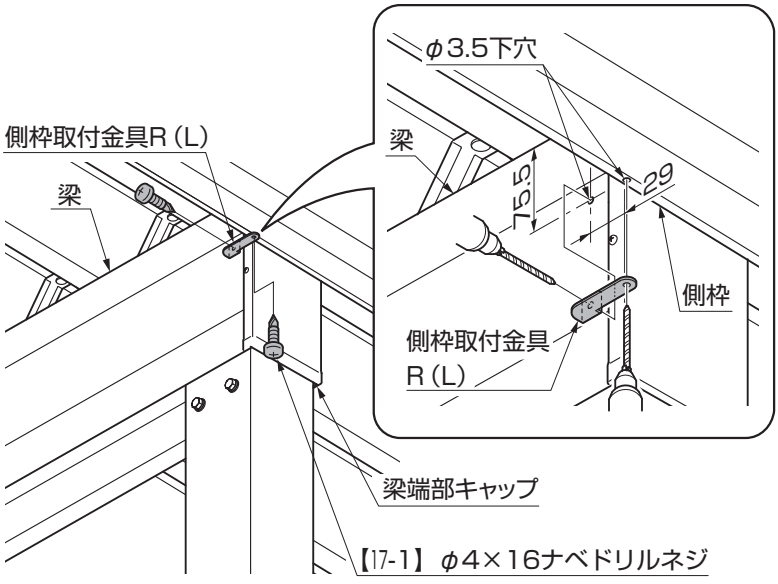


図4-11

①図4-10の取付け位置の梁に側枠取付金具を仮当てし、取付用の下穴φ3.5をあけて【17-1】で取付けてください。

ポイント

●側枠取付金具は梁の片面のみの取付けです。

5. 前後枠取付け前の準備（基本仕様幅80サイズ・横連棟仕様・幅18延長仕様の場合）

5-1　前後枠の連結部の加工

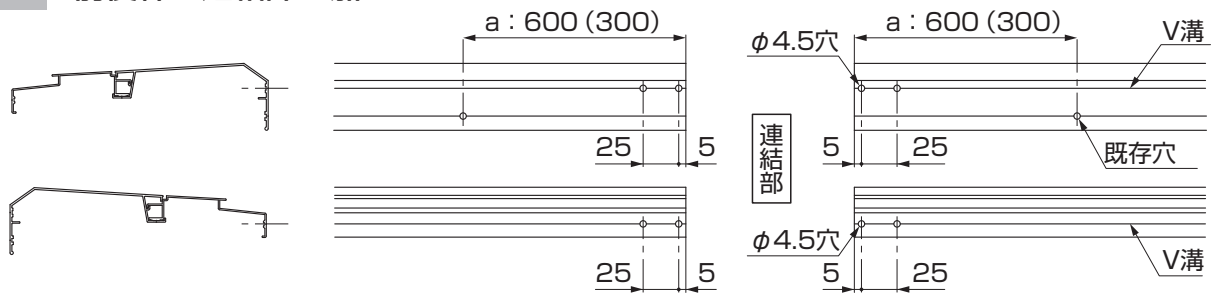


図5-1　前後枠（水上）の加工

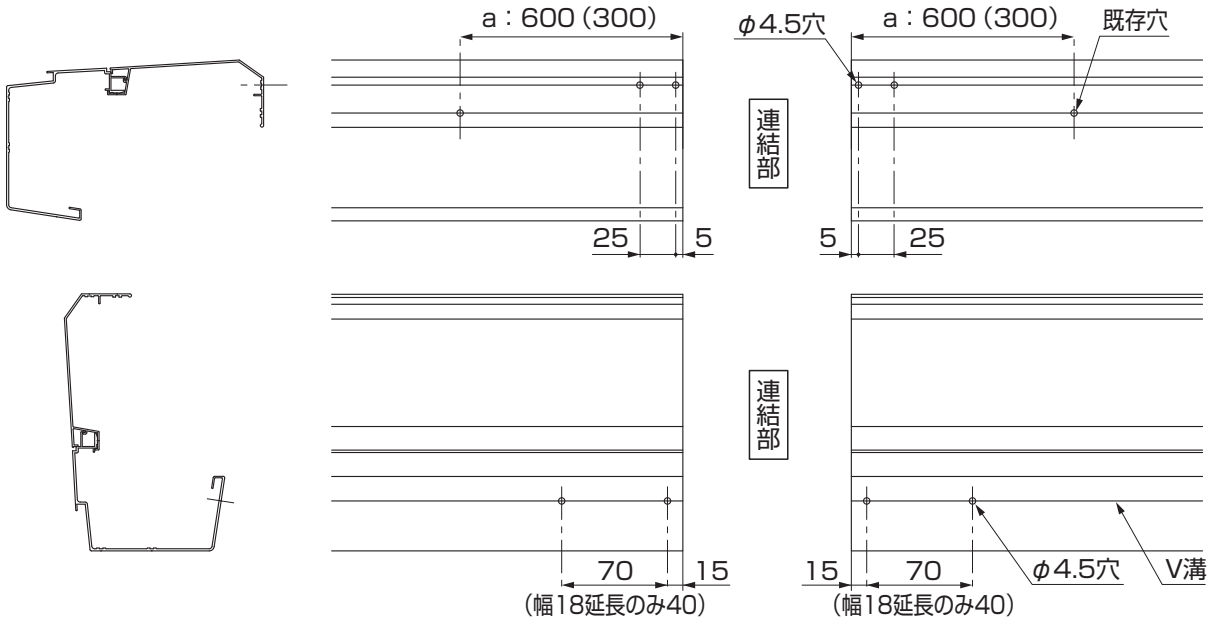


図5-2　前後枠（水下）の加工

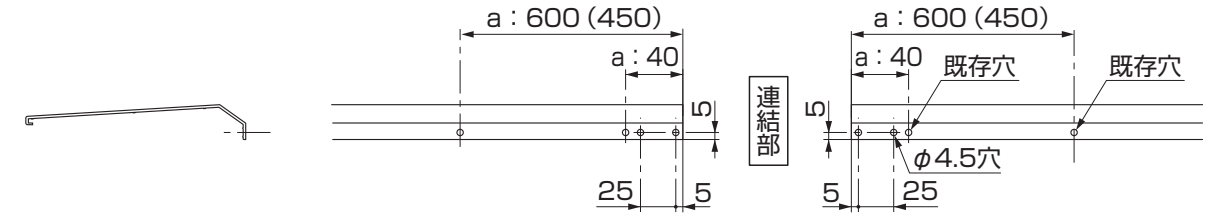


図5-3　化粧枠の加工

①図5-1、図5-2を参照して、前後枠に穴加工をしてください。
②化粧枠取付け時は図5-3を参照して、化粧枠を前後枠へ組付け後、穴加工してください。
※a寸法は、工場出荷時加工穴、（　）寸法は80用を示します。

ポイント

●幅80用前後枠の水上・水下には左右があります。a寸法が300mmの方を中央にしてください。
●幅80用前後枠水下には両端に水抜き穴がくるように連結してください。

5.（つづき）

5-2　前後枠の連結　※（　）寸法は幅80用を示します。

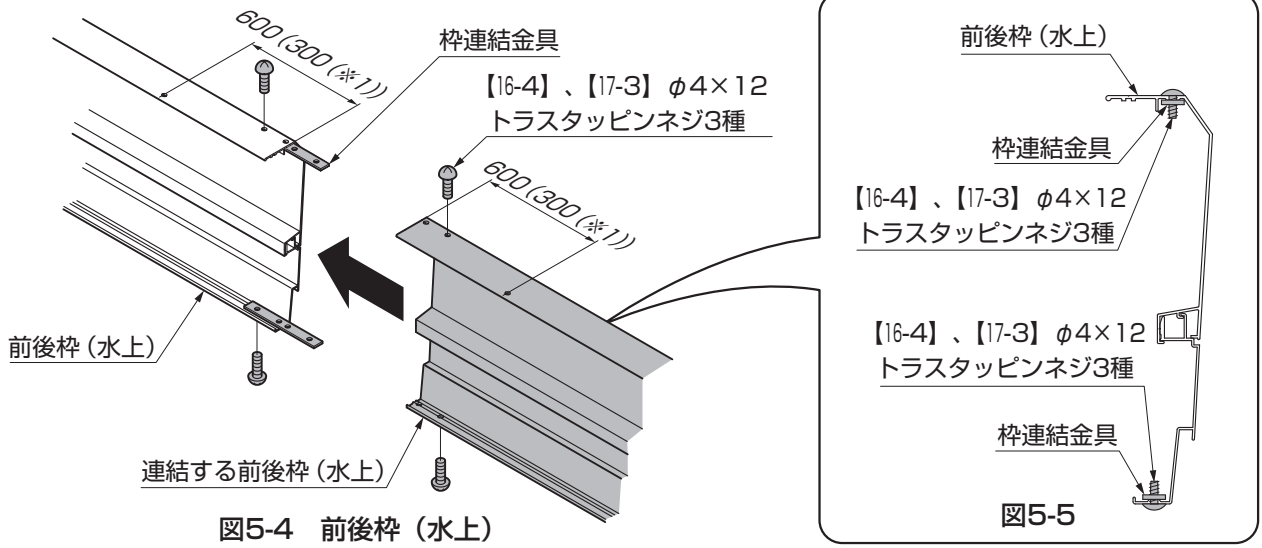


図5-4　前後枠（水上）　　図5-5

①前後枠（水上）を枠連結金具と【16-4】、【17-3】で連結してください。

ポイント

●幅80用の場合、穴加工寸法が300mmの方（※1）を中央の連結側にしてください。
●上下面中央2本のネジは枠連結カバーを取付ける際にネジ止めします。

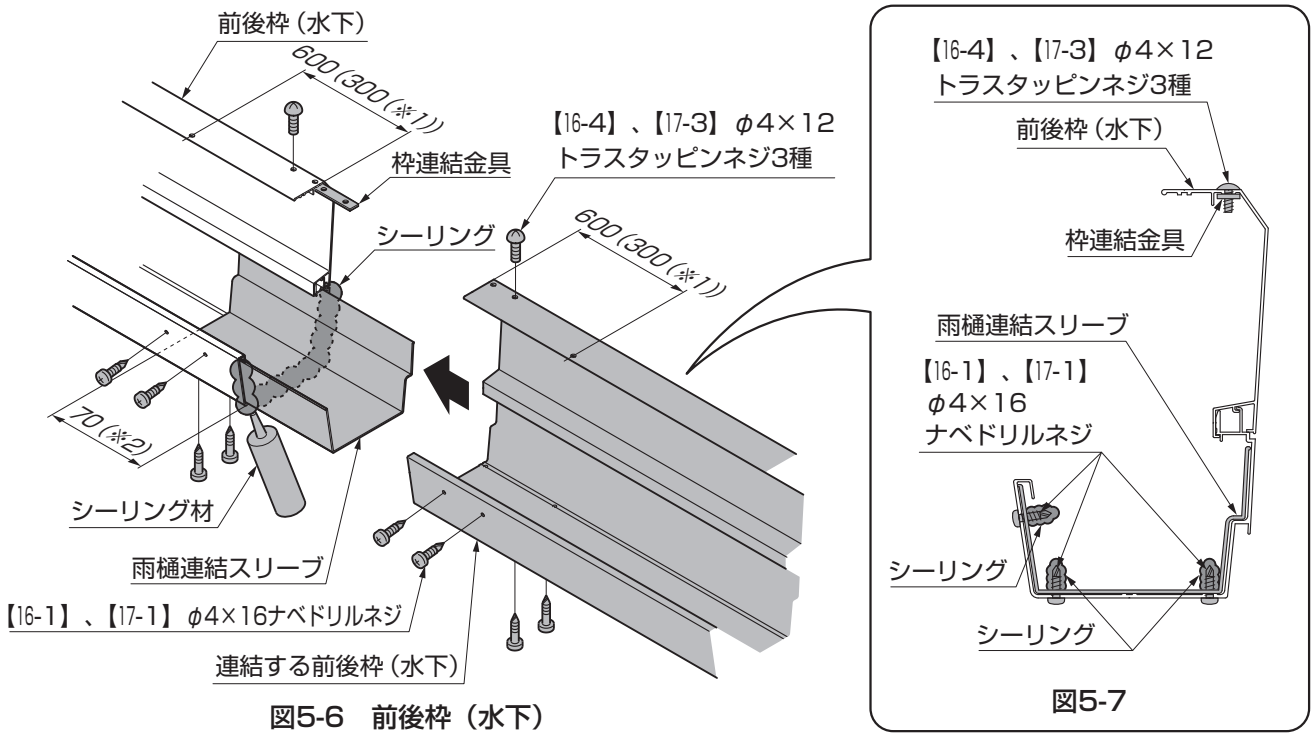


図5-6　前後枠（水下）　　図5-7

②前後枠（水下）を枠連結金具、雨樋連結スリーブと【16-1】、【16-4】、【17-1】、【17-3】でネジ止めしてください。
③雨樋連結スリーブを挿入した前後枠の端部にシーリング材を添付してください。
④もう一方の前後枠を連結し、【16-1】、【16-4】、【17-1】、【17-3】でネジ止めしてください。
⑤内側に出ているネジの先端と周りにシーリングをしてください。（図5-7参照）
⑥連結部からはみ出たシーリング材を拭きとってください。

ポイント

●指定の箇所には必ずシーリングをしてください。
●幅18延長の場合、雨樋アタッチメント取付側の雨樋連結スリーブのみ込み寸法を70mmにしてください。（※2）

5-3　シーリング、枠連結カバーの取付け

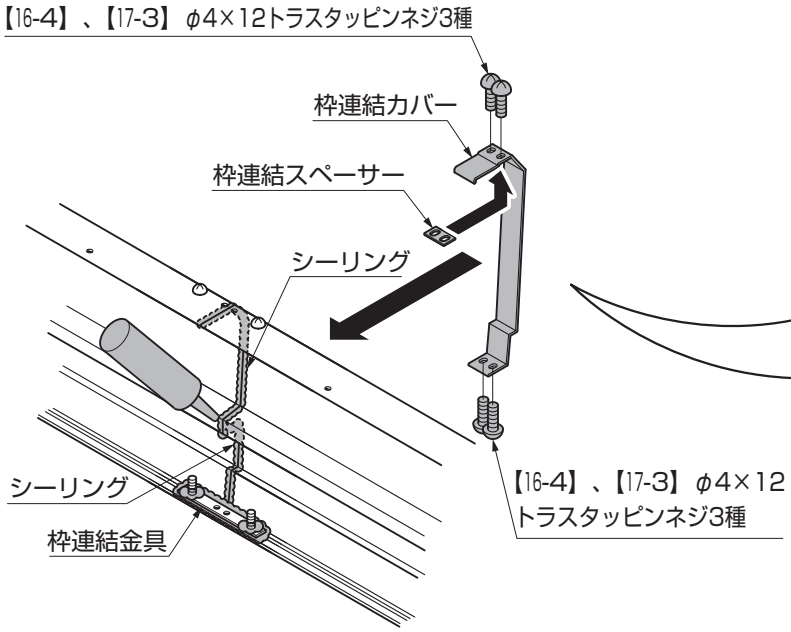


図5-8　前後枠（水上）

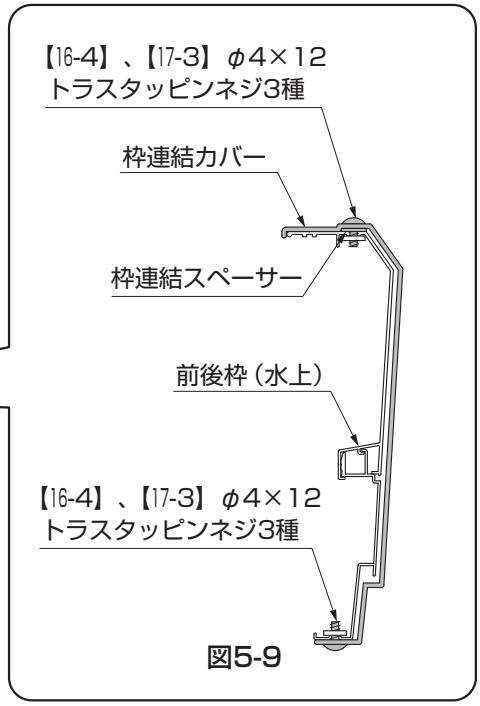


図5-9

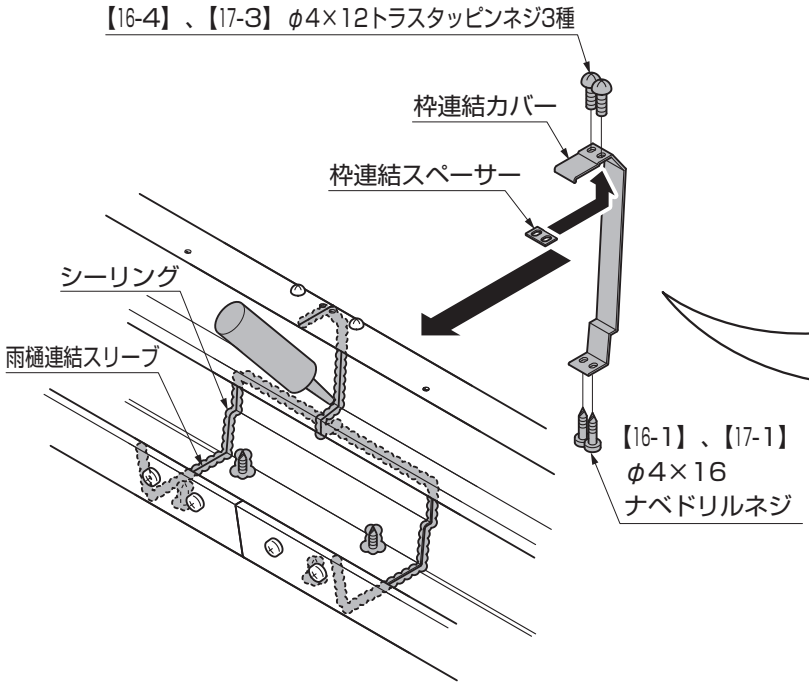


図5-10　前後枠（水下）

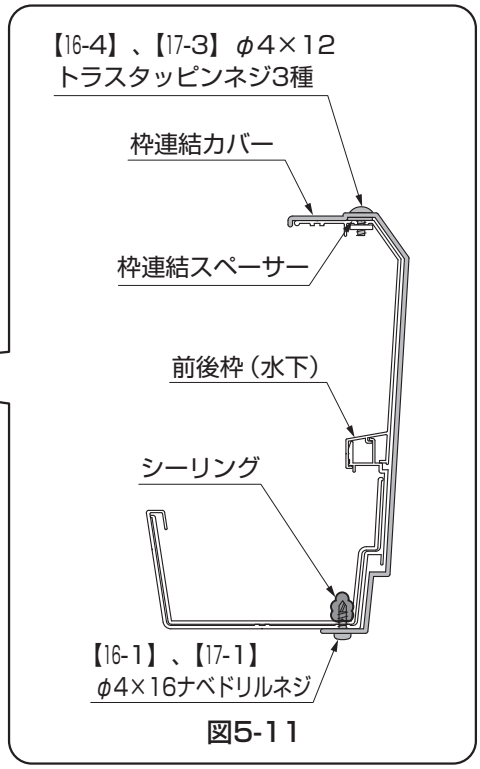


図5-11

①枠連結カバーに枠連結スペーサーを貼付けてください。（化粧枠取付け時は不要です。）
②前後枠の連結部に枠連結カバーを【16-1】、【16-4】、【17-1】、【17-3】で取付けてください。
③前後枠の継ぎ目と枠連結金具、雨樋連結スリーブの周りと内側に出ているネジ先端と周りにシーリングをしてください。

ポイント

●指定の箇所には必ずシーリングをしてください。

6. 前後枠の取付け

6-1 雨樋キャップ、雨樋アタッチメント、雨樋穴ふさぎの取付け

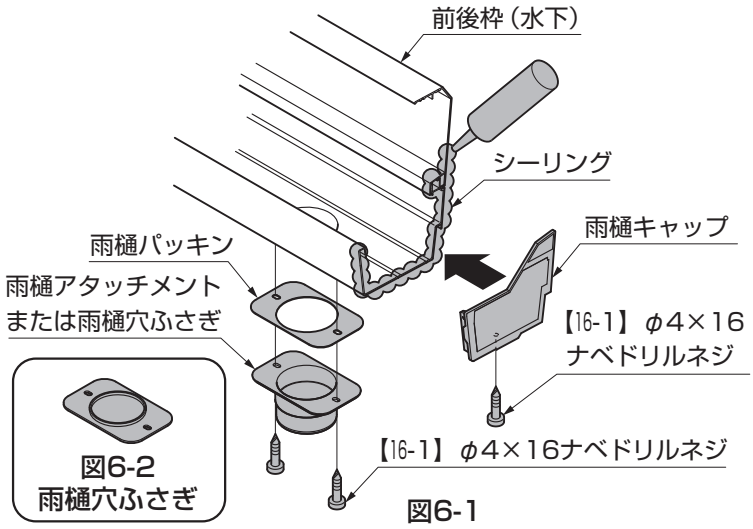


図6-1

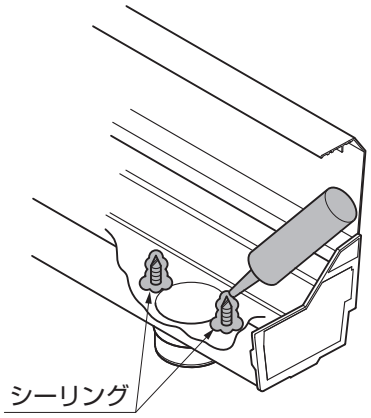


図6-3

①前後枠（水下）に雨樋パッキン、雨樋アタッチメント（または雨樋穴ふさぎ）を【16-1】で取付けてください。
②前後枠（水下）にシーリングしてください。
③前後枠（水下）に雨樋キャップを【16-1】で取付けてください。
④雨樋内側に出ているネジの先端と周りにシーリングしてください。（図6-3参照）

ポイント

●指定の箇所には必ずシーリングをしてください。

6-2 枠コーナーキャップの取付け

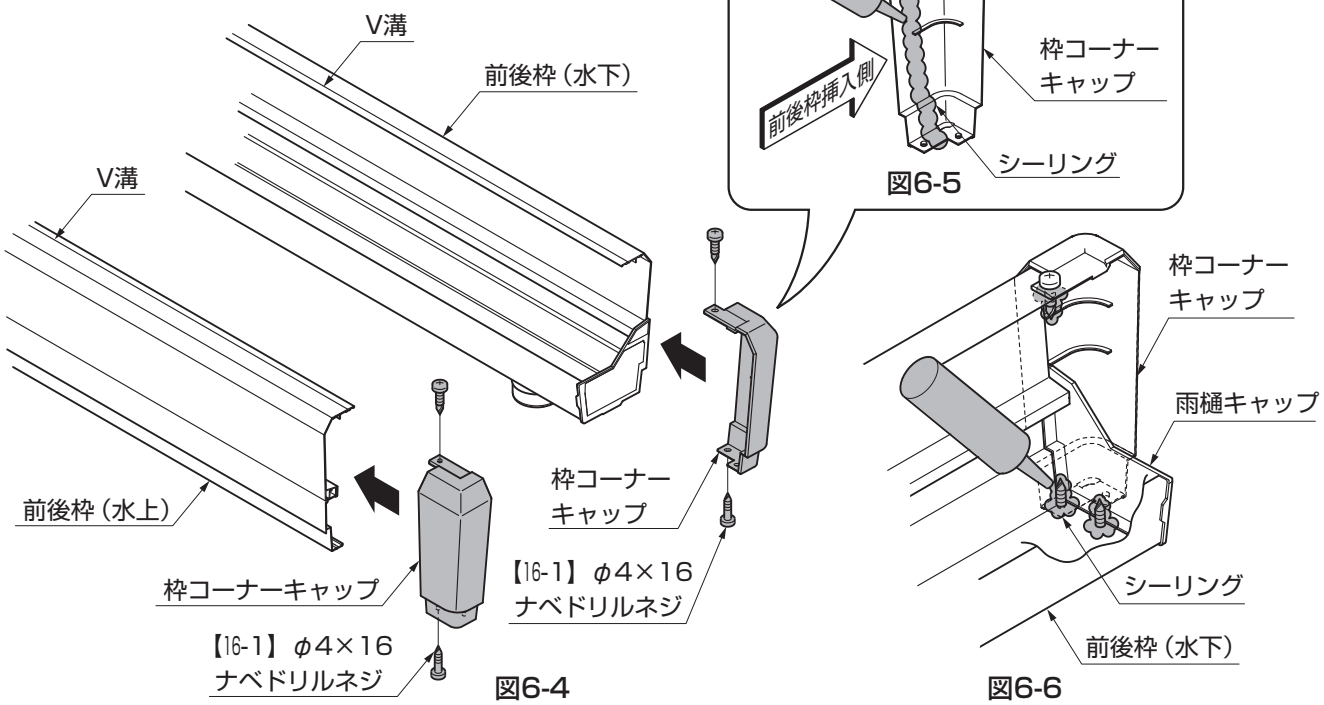


図6-4

図6-5

図6-6

①前後枠を挿入する側の枠コーナキャップ内側にシーリングをしてください。（図6-5参照）
②前後枠に枠コーナーキャップを【16-1】でV溝に合わせて取付けてください。
③雨樋キャップと枠コーナーキャップを固定したネジの先端と周りにシーリングをしてください。（図6-6参照）

ポイント

●指定の箇所には必ずシーリングをしてください。

6-3 前後枠の取付け

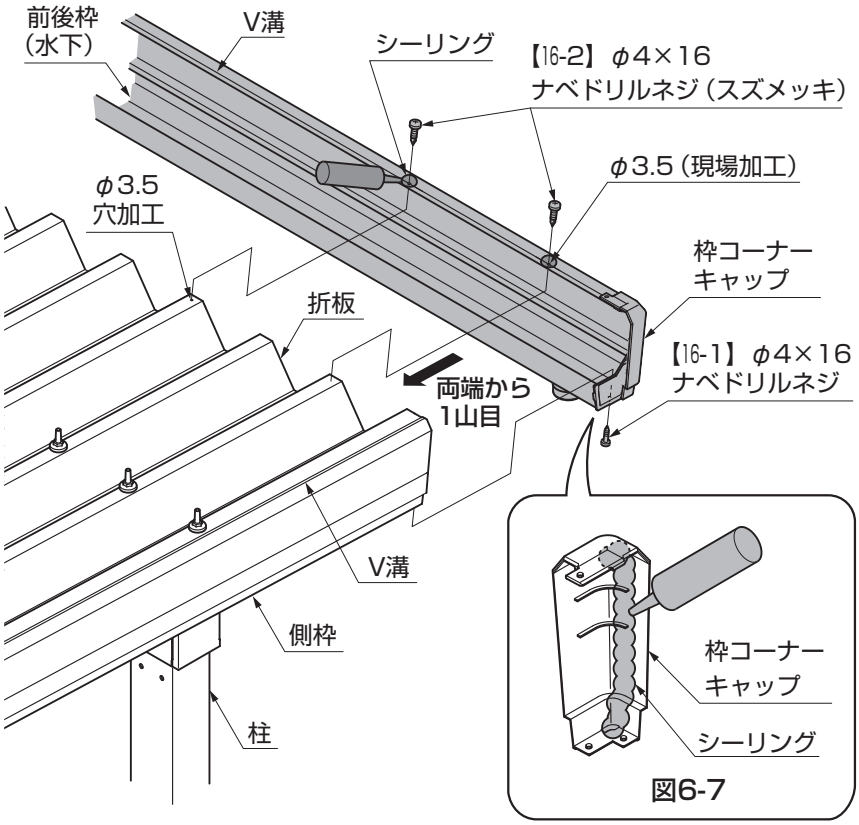


図6-7

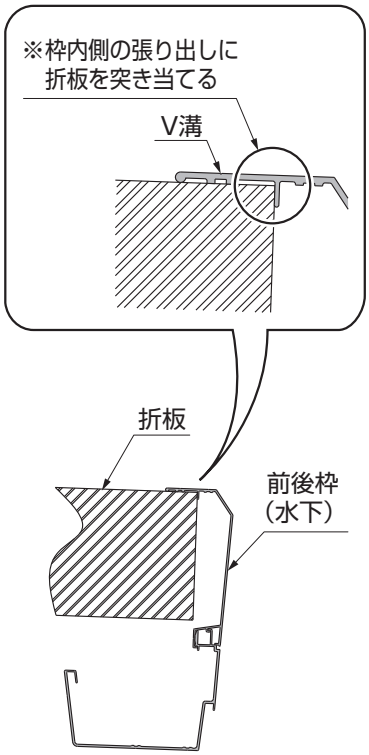
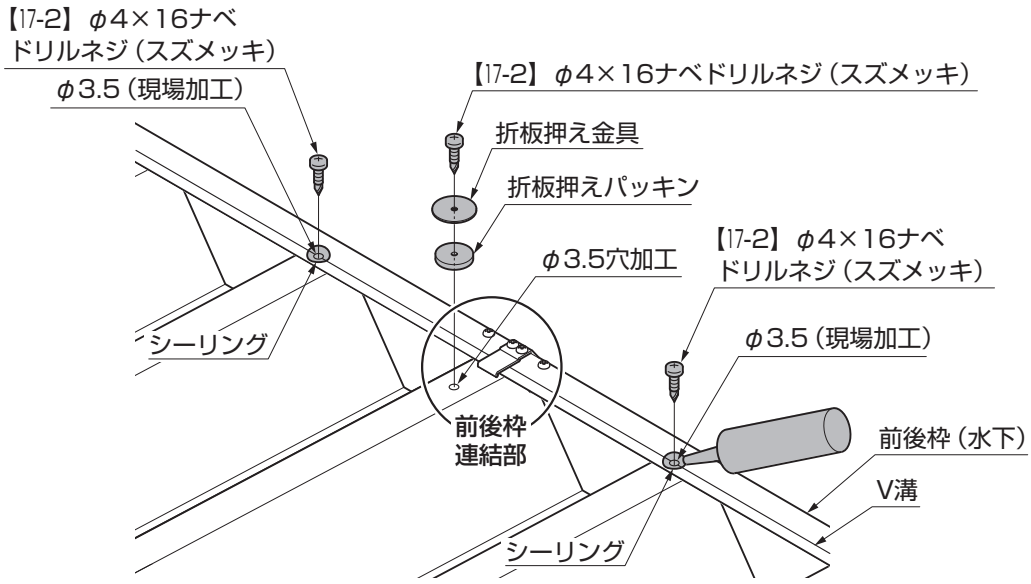


図6-8

①枠コーナーキャップ内側にシーリングをしてください。（図6-7参照）
②前後枠を側枠にV溝に合わせて【16-1】で取付けてください。
③前後枠の加工穴より折板にφ3.5の穴加工をし、前後枠を【16-2】で固定してください。
④折板の両端から1山目の位置にφ3.5の穴加工をし、前後枠と折板を【16-2】で固定してください。

6-4 折板押え金具の取付け（横連棟、間口延長した場合のみ）



①前後枠連結部の折板の重なり部を折板押さえ金具で固定してください。
②前後枠連結部から両側1山目の位置にφ3.5の穴加工をし、前後枠と折板を【17-2】で固定してください。

ポイント

●水上、水下側共に行なってください。

7. 竪樋の取付け

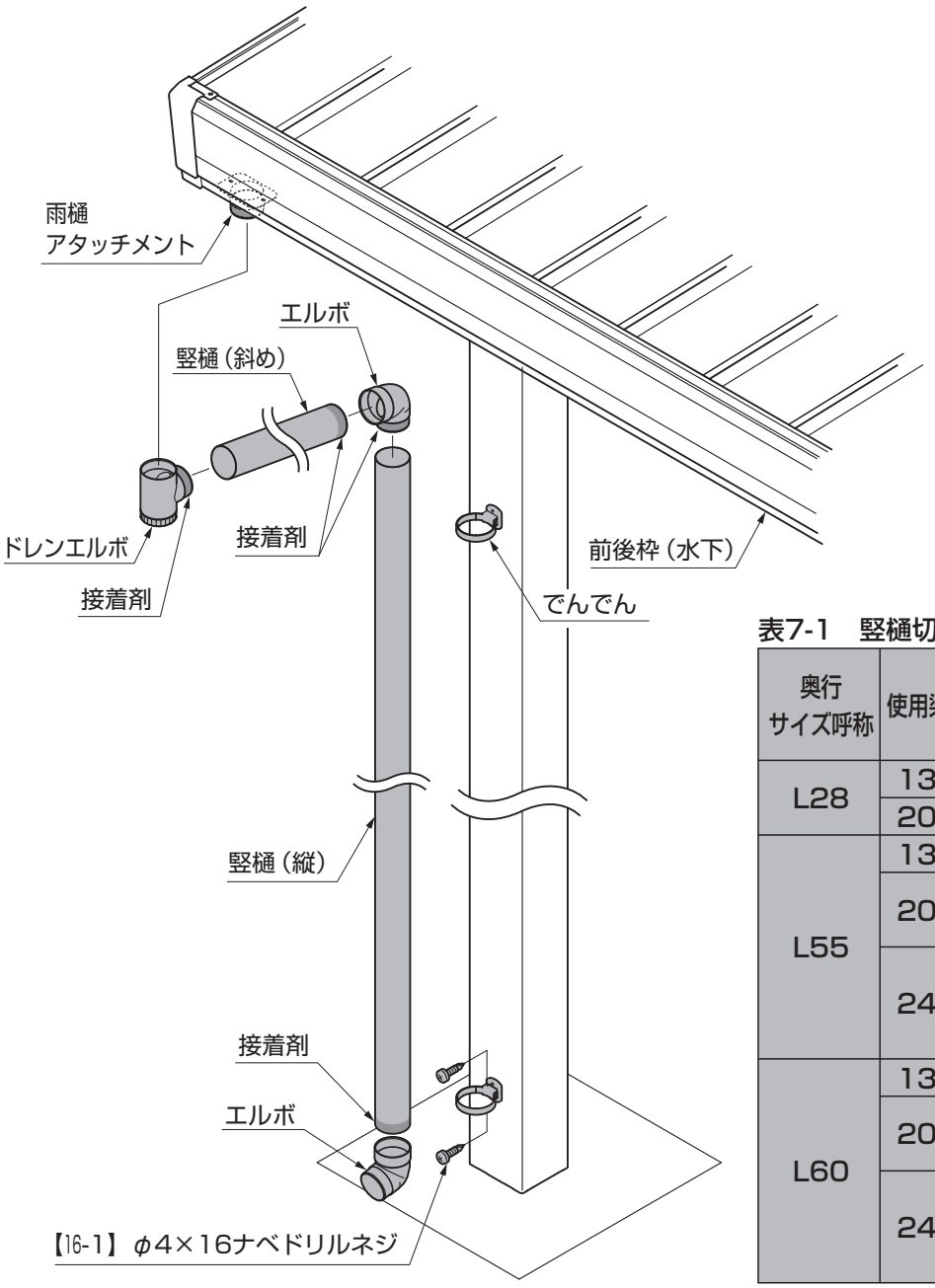


図7-1

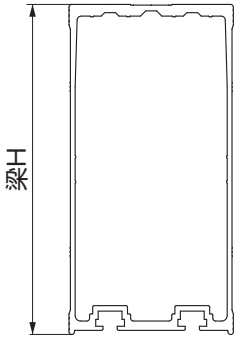


図7-2　梁高さH

表7-1　竪樋切断寸法表

奥行サイズ呼称	使用梁H	奥行柱ピッチ	竪樋切断寸法	
			斜め使い	縦使い（標準柱）
L28	135	1700	337	2065
	200	1700	337	2130
L55	135	3300	841	1980
	200	2000	487	2105
		3300	841	2045
	240	1400	386	2165
		2000	487	2145
		3300	841	2085
L60	135	3300	1144	1925
	200	2200	588	2090
		3300	1144	1990
	240	1600	386	2165
		2200	588	2130
		3300	1144	2030

※上記寸法は柱位置が標準の場合の切断寸法です。
※施工する梁の高さと柱ピッチにより竪樋の切断寸法が変わります。
※竪樋切断寸法の縦使い寸法はロング柱25で＋200mm、ロング柱30で＋700mmで切断してください。

①雨樋部品を取付けてください。

8. 水切りパッキンの取付け　オプション

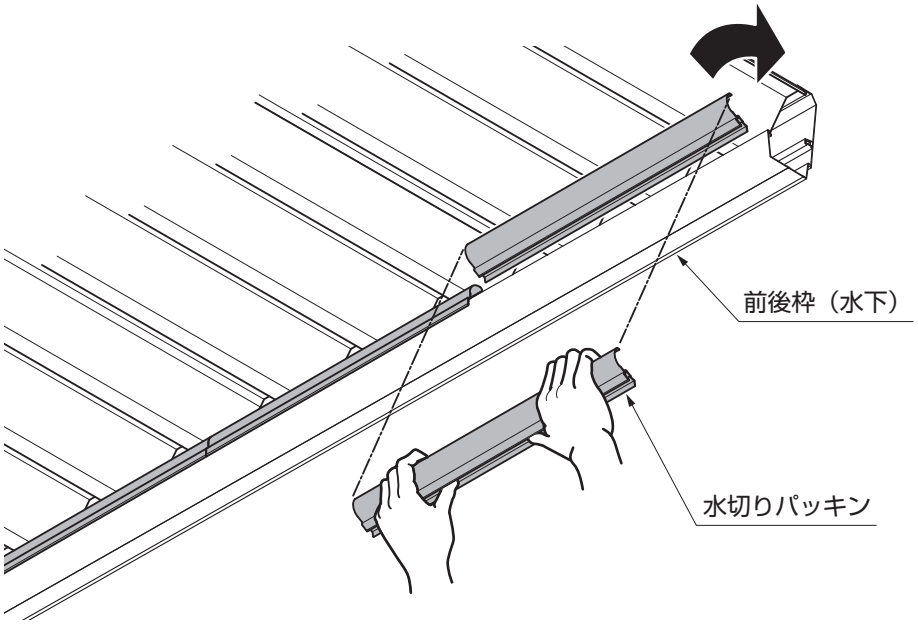


図8-1

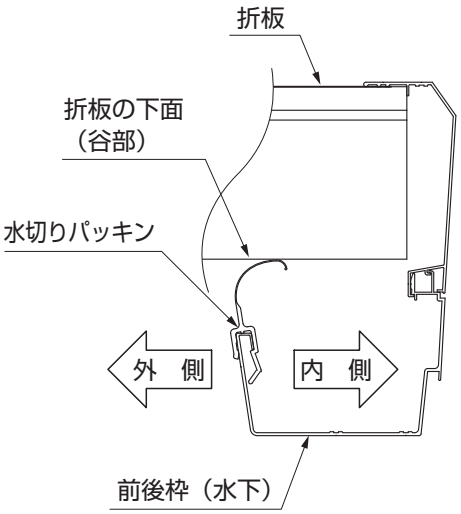


図8-2

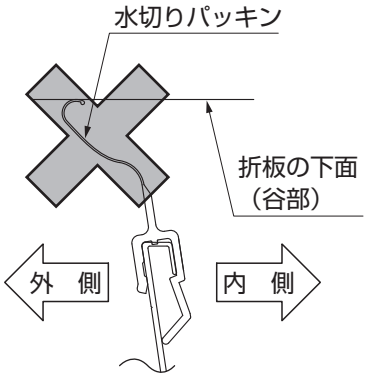


図8-3

①前後枠（水下）に水切りパッキンを図8-1のようにかぶせ、回転させながらはめ込んでください。

ポイント

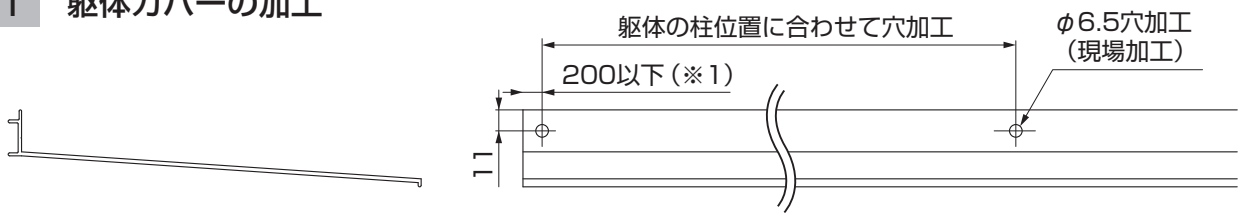
●水切りパッキン先端の向きが、前後枠の内側に向くように手で整えてください。

9. 躯体カバーの取付け オプション

注 意

- ●ネジ止めによる躯体壁の断熱性能低下、壁内配線・配管の損傷を招かないよう、壁内の状態を確認して施工してください。
- ●柱、間柱などの構造体に必ず止めてください。構造体位置がわからない場合、および躯体が強度保持できない場合は取付けないでください。
- ●躯体が経年変化などで損傷が著しい場合は、施主様と打ち合わせをし、必要に応じて補強してから取付けてください。
- ●シーリング材を下穴に充てんしてからネジ止めをしてください。
- ●躯体の継ぎ目に取付穴がこないようにしてください。

9-1 躯体カバーの加工

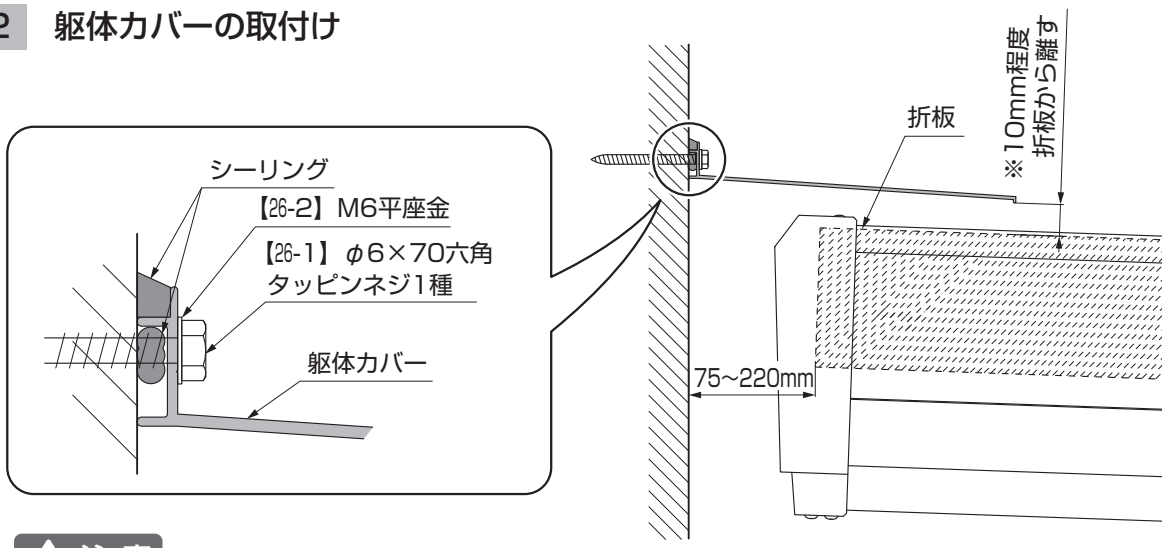


①躯体の柱および間柱の位置に合わせて、躯体カバーにφ6.5の穴加工をしてください。

ポイント

- ●躯体カバー端部の取付穴は200以下にしてください。200以上は製品破損のおそれがあります。（※1）

9-2 躯体カバーの取付け



注 意

- ●躯体カバーの先端が折板から10mm程度浮いた位置に躯体カバーを取付けてください。10mm以下は屋根材との音鳴りが発生するおそれがります。

①躯体カバーの加工穴φ6.5へシーリング材を入れてください。
②躯体カバーを躯体の柱および間柱に【26-1】、【26-2】で取付けてください。
③躯体と躯体カバーの境目にシーリングをしてください。

ポイント

- ●指定の箇所には必ずシーリングをしてください。

取説コード
D522
JZZ621052
201105A_1039